

表紙, 目次, 抄録, 會報

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/37894

大正七年十二月一日發行

金澤醫學
專門學校
十全會雜誌

卷三十二第
號二十第
(號五十五百第)

金澤醫學專門學校十全會

金澤醫學專門學校 **十全會雜誌** 第二十三卷第十二號 (第百五十五號) **目次**

○原 著

○內臟轉錯症例追加……………金澤醫學士 橋 本 學…一

○臨床講義

○流行性感冒に併發したる肺炎……………醫學博士 田 村 昌述…五

○學 會

○金澤皮膚科集談會第二十三回例會……………二

○抄 錄

內 科 學……………四件……………二六
皮 膚 科 學……………三件……………三〇

○校 內 消 息

●天長節祝日拜賀式。●高安校長在職三十年記念壽像除幕式及祝賀會。
●實彈射擊。●三年級會記事……………三

○會 報

●講話部記事。●弓術部大會。●遠足部記事……………三

○叙 任 及 辭 令

●內閣。●宮內省。●賞勳局。●陸軍省。●海軍省。●石川縣……………四

○人 事

●岡島敬治氏。●北村米三郎氏。●石川濟氏。●楠田利一郎氏。●武安五郎氏。●三輪敏夫君。●石橋有次君……………三

○會 告

●校外特別會員會費受領報告……………三

○會 員 名 簿

○金澤皮膚科集談會第廿三回例會（十月十二日）

尋常性天疱瘡ノ一例

森 田 隼 三

谷島某女。四十一歳、農、富山縣西礪波郡産、初診大正七年八月三十日。血族の關係。祖母ハ九十歳ニシテ健存視力殆ド無シ、父母及ビ夫共ニ強健炭燒等ニ從事ス、學子八人一名腸病ニテ死亡セル外皆健在ニシテ血族中患者ト同種ノ皮膚病ニ罹リタル者ナシ、患者種痘幼少時二、三回、十七八歳頃一回行ヘリ、麻疹ハ幼少ノ時輕症病臥セズシテ治セリ、三十五六歳頃全身浮腫、倦怠三四週醫藥ニヨリ治セリ、昨年暮頃再ビ下腿浮腫、重感、兩下腿ニ爪大ノ赤色ノ皮疹二、三個宛發生シ一週間許リニテ治セリト云フ。

現病歴。 本年八月六日山ニ登リ夕刻重荷ヲ負ヒテ歸宅セルガ背部ニ灼熱癢ノ感アリ、局部ニ丘疹數多發生常色ヲ呈セリ、頻リニ搔爬セシニ益々同發疹増加シ、翌日某醫ニヨリ湯治ヲ勸メラレ入湯セシニ愈々増悪臀部及ビ大腿ニ擴マル、由テ藥湯(草類)ヲ自家ニ設ケ入湯セシニ一層増激殆ド全身ニ擴マリ、十五六日頃ヨリ顔面ヲ侵シ次デ小水泡ヲ見ルニ至ル、翌日某院ニ入院二週間漸次増悪スルノミ當院ニ治ヲ乞フ。

現症。 体格榮養佳良、頭髮密ナラズ、口唇乾燥輝裂ヲ生ズ、口腔粘膜異常ヲ認メズ、全身浮腫狀ヲ呈シ殊ニ下腿ニ著シ、指壓痕ヲ遺ス、腹部膨滿聽打診上胸腹部ニ異常ヲ認メズ、全身倦怠、運動困難、時々惡寒熱發二十九度ニ達

スルコトアリ、發疹ハ殆ド全身ヲ侵シ、粘膜ハ異常ヲ認メズ、爪甲僅ニ透明ヲ失ヘリ、手掌足蹠ハ上皮乾燥硬固ナル厚キ板狀ヲナシテ游離シ、頭部比較的發疹少ク白色ノ鱗屑及ビ小水疱ヲ見ル、大小不同ノ汚穢灰白色ノ痂皮上皮剝脫夥シク葉狀ヲナシ摩擦或ハ体動ニヨリテ落屑積ル、諸所ニ赤色丘疹或ハ蕁麻疹様(胸腹部)或ハ線狀ヲナシテ波紋ヲ造ル紅斑アリ、水疱ノ大サ半小豆大ヨリ五厘銅貨大或ハ融合シテ境界不明ナルアリ、主トシテ兩前膊大腿胸腹部ニ頑固ニ反覆發生セリ、透明ニシテ緊張セルアリ、溷濁シテ弛緩セルアリ、破綻シテ紅色ノ糜爛面ヲ現ハスアリ分泌物多ク惡臭ヲ放ツ、或ハ血痂ヲ被ルアリ、治癒後ノ皮膚面ハ白色ニシテ色素ノ脫失セルアリ、黒褐色ノ斑ヲ遺スアリ、互ニ雲狀ヲナシ板狀ニ固ク弾力性ニ乏シ、自覺症トシテ灼痛癢痒倦怠アリ、尿中糖分、蛋白ハ之ヲ認メズ、ワ氏反應陰性ナリ、前膊及ビ大腿ノ新生水疱ヨリ細菌ノ培養ヲ試ミタルモ陰性ニ終レリ、經過、初診當時ハ顔面等全身殆ド落葉狀天疱瘡ト異ナラザル狀ヲ呈シ(寫眞供覽)個々ノ水疱殆ド認メ難ク、葉狀ノ落屑汚穢ナル痂皮分泌物甚シク惡臭室ニ充チ惡寒熱發三十九度ニ昇リ、全身倦怠、頭重、食事不振、豫後ノ經過疑ハシキモノナリシガ、入院治療十日許リニシテ漸次佳良ニ趣キ水疱減少、分泌物少ク從フテ惡臭去リ、水疱ハ限局シ來リシガ如ク、浮腫モ漸ク輕度トナリ入院三週間ニシテ家事上ノ都合ニテ退院セリ、當時顔面ハ色素沈着ヲ見ルノミ平滑ニ治癒セリ。

麻疹ニ繼發セシ頭部潰 二例

陸軍一等軍醫 淺 見 誓 堂

支那人患者二例ノ寫眞ヲ供覽シ其梗概ヲ述ベタリ。

第一例。 劉 義順、 二年五ヶ月、 裁縫師ノ娘。

父母共ニ二十九歳、何レモ壯健未ダ著患ヲ知ラザル者ノ間ニ生レタル一人娘ニシテ、体格中等、榮養少シク不良、一般ニ貧血性ナルモ發育尋常胸腹部臟器ニ著變ヲ見ズ。

現症。大正五年四月下旬、麻疹ヲ病ミ約三週日ヲ經テ其恢復期ニ入リシ頃、後頭部ニ約五厘銅貨大ノ紅斑ヲ發見シタリシガ、次第ニ潰瘍ニ陥リ且ツ増大シタルト共ニ他部ニモ蔓延シテ、同六年八月九日初診ノ際、後頭部ノモノハ縱徑約六仙、橫徑約七仙、右顳額部ノモノハ縱徑約三・五仙、橫徑約一〇仙、共ニ一部ハ頭蓋骨ヲ露出シ、肉芽ハ稍々遲鈍性ニシテ惡臭アル膿汁ヲ分泌シ邊緣ノ一部ハ少シク穿鑿シアリ。

第二例。夏 漢技、一年三ヶ月、傭人ノ娘。

父母共ニ二十六歲何レモ壯健、患兒ニ一姉アリシモ麻疹ニテ死亡セリト、体格中等、發育概ネ尋常ナルモ、榮養不良ニシテ稍々著シク羸瘦シ、聲音嘶嘎シテ一見小兒瘦削症ノ如キ狀ヲ呈シ、胸部ニハ氣管支炎ノ症狀ヲ有セリ。

現症。大正六年五月中旬、麻疹ニ罹リ加療中、六月上旬後頭部ニ小兒手掌大ノ紅斑ヲ生ジ、次デ潰瘍ニ陥リ、同年八月十六日初診ノ際縱徑約四仙、橫徑約四・五仙ヲ呈シ、肉芽ハ遲鈍性ニシテ少量ノ稀薄膿汁ヲ分泌シ、一部ハ壞疽様物質ヲ被リ邊緣ハ一部穿鑿シアリ。

右二例ハ麻疹經過中枕ニヨリ血行障礙ヲ來シ發生シタルモノノ如ク、培養及ビ組織検査上特殊ノ成績ヲ得ザリキ、而テ第一例ハ次第ニ良好ナル經過ヲ取り、第二例ハ受診後廿二日ニシテ榮養不良ノ爲死亡シタリ云々。

兒玉氏沈降反應法ノ微毒診斷上ニ於ケル價值ニ就テ

岡 本 京 太 郎

次號原著欄ニ掲載スベシ。

膀胱神經症ニ就テ

醫學博士 土 肥 章 司

膀胱神經症 Blasenneurose 中、予ハ茲ニ膀胱知覺神經ノ刺戟症ニ就テ聊カ述ベントス。膀胱ハ全然器質的變化ヲ缺如シ、尿モ亦澄明ニシテ顯微鏡的及ビ化學的檢査上異常ナク、膀胱炎ノ症候ハ毫モ認メズ、獨リ膀胱粘膜ハ過敏ニシテ容易ニ利尿筋ノ收縮ヲ起スモノナリ。其主要症候ハ尿意促進ニシテ、甚シキトキハ十五分乃至三十分毎ニ排尿ス、然レドモ此尿意促進ハ單ニ晝間ノミニ限リ、夜間(就眠中)ハ少シモ尿意ヲ催サザルカ、或ハ僅ニ一、二回ニ過ギズ、疼痛ハ普通全ク缺如ス、時ニ排尿時或ハ排尿後ニ輕度ノ鈍痛ヲ感ジ、肛門鼠蹊部若クハ陰莖尖端ニ向テ放散スルヲ覺ユルコトアリ。

本症ハ卒然突發シ、數日乃至一、二週ニシテ消散スルアリ、或ハ徐々ニ發生シ、長ク經過スルアリ、而シテ元來再發シ易ク、或ル誘因ニ遭遇スルヤ發作襲來スルコト多シ。

原因トシテハ精神過勞過度ノ房事或ハ手淫過劇ノ勞働寒冷若クハ淋疾後ニ繼發スルコトアリ、多クハ全身性神經衰弱症ヲ有シ、其一分症トシテ本症ヲ發生スルモノトス。

予ノ實驗セル多數ノ本症例中、試ニ最近ノ一二例ヲ左ニ述ブベシ。

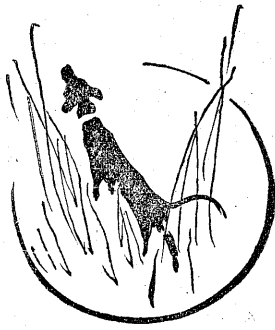
吉見某男。三十三歲、理髮業、大正七年八月十二日初診。

數年前結婚シ、學子一名アリ、妻子共ニ健在、約十年前淋疾ニ罹リタルコトアリ。三、四年前ヨリ毎年六、七月頃ニ於テ尿意促進ヲ覺ユ、昨年ハ六月當皮膚科ニ來タリ治療ヲ受ケ二、三週ニシテ平癒セリ、然ルニ又々二、三日前ヨリ頻リニ尿意ヲ催シ、晝間ハ二、三十分毎ニ排尿スルモ、就眠後ハ更ニ尿意ヲ催サズ、排尿時尿路ニ疼痛ナキモ、腰部ニハ常ニ鈍痛ヲ覺ユト云フ、昨年當院神經科ニ於テ神經衰弱症及ビ「ヒステリー」ナル診斷ヲ下サレタリ。患者ハ体格大榮養中等稍々羸瘦ス、尿ハ前後兩盃共ニ全ク澄明ニシテ、毫モ淋絲ヲ認メズ、攝護腺ノ硬結腫脹等ヲ觸知セズ、僅ニ銳敏ナルノミ、其他尿路及ビ生殖器ニ他覺的ニ毫モ異常ナシ。

山縣某男。三十二歲、機業、大正七年九月六日初診。

七年前結婚シ、舉子ナシ、大正四年淋疾ニ罹リ、當科ノ治療ヲ受ケ、本年一月再ビ淋疾ニ感染セリ。然ルニ三、四月頃ヨリ月ニ一、二回發作性ニ尿意促進ヲ覺エ、當時ハ四、五日ニシテ平常ニ復シタルモ、六、七月頃ヨリ屢々尿意促進ヲ感ジ、殊ニ歩行セルトキ、或ハ少シク寒冷ニ遇フトキハ甚シク、一時間ニ一、二回排尿ヲ催スモ、夜間就眠中ハ尿意ナシ、又晝間ト雖モ身体ヲ安靜ニシ且ツ温包スルトキハ、尿意ヲ催スコト遙ニ少ナシ、排尿ノ際疼痛ナキモ、早朝ハ多少不快ヲ感ズト云フ。体格榮養共ニ中等、神經質ノ男子ニシテ、尿中糖蛋白ヲ證明セズ、尿ハ前後兩盃共ニ澄明ニシテ、前盃中ニ一、二ノ淋絲浮遊セルノミ、鏡檢上粘液・少數ノ膿球及ビ上皮アリ、攝護腺ハ普通ニシテ、其他尿路及ビ生殖器エ異常ナシ。

治療法トシテハ先ヅ精神及ビ身体ノ安靜、下腹部ノ温包、規則正シキ生活ヲ必要トス、温浴ハ極メテ有効ニシテ、全身浴或ハ座浴ヲ行ハシメ、若クハ温泉療養モ可ナリ、尿道ニ尙ホ炎症ノ存スルモノハ局處療法ヲ行フ、此際濃厚溶液ヲ避ケ、可及的刺戟少ナキ藥液ヲ注入スベシ。電氣療法モ亦試ミテ可ナリ、一極ヲ會陰ニ、他極ヲ膀胱部ニ貼シ、弱キ電流ヲ通ズベシ。内服藥トシテハ臭素劑、「アンチピリン」、「フェナセデン」等ヲ與ヘ、莫比ハ成ルベク避クルヲ良トス。



抄 録

内 科 學

○「チフス」、「バラチフス」、赤痢菌等ノ

鑑別ニ使用スベク改良シタル培養基

(The Journal of Experimental Medicine. 1918 September 1.)

ジエ、クリグレル

肉汁ニ「アガール」ヲ加ヘ其反應ヲ pH 11.4 トナシタルモノ又アンドラード氏試藥ヲ一容量%ニ加ヘ中性ナルモノヲ各試験管ニ五 c.c. ツツ入ルベシ、其温度六〇度ニ下リシ後之レニ二〇%ラクトーゼ「二%グルトーゼ」ヲ別々ニ消毒シタル混合液〇・二五 c.c. ヲ加ヘ尙 塩基性醋酸鉛 〇・二五%液ヲ殺菌シ一・c.c. ヲ加フ、之レヲ輕ク斜面ニ凝固セシム、以上ノ如ク製シタル斜面培養基上ニ於テハ大腸菌ハ瓦斯ヲ發生シ且全培養基ヲ赤變ス、「チフス菌」ハ底部ノミ赤變シ斜面部ハ無色、多少ノ褐色化スルヲ認ム、「バラチフス菌」ニアリテハ「チフス」同様ナレドモ瓦斯發生ノ点ニ於テ鑑別シ得ベク、A型及B型モ其斜面ノ表面ニ於ケル褐色

ノ色調ニ差アリ區別スルコト困難ナラズ即B型ノモノハ褐色化スルコト強クA型ニハ之レナシ「バチルス、エンテリチナス」及「バチルス、ムリウム」ハB型バラチフス菌ト同様ノ反應ヲ呈ス、要スルニエンド氏培養基、ルツセル氏培養基及中性「レドブリアントグリーン」培養基ノ三者ヲ混合改良シタル一新培養基ハ「チフス」、「バラチフス」、赤痢菌ヲ容易ニ鑑別シ得ルニ適スト云フ。

(内科學教室田村抄)

○七日熱ノ症狀ニ就テ

(日新醫學第八年第一號)

醫學博士 井 戸 泰

奥田喜久三

和 邇 秀 恒

岸 本 道 夫

著者等ハ七日熱病原體ノ闡明セルニ拘ラズ其症狀ノ精叙サレタルモノナキヲ慨シ、大正六年秋、福岡縣早良郡ニ出張シ二十六例ノ本病患者ニ就キテ調査セリ。其結果ヲ抄記スレバ次ノ如シ。

素因。一、性。男子ニ多ク二十六例中女子ハ僅ニ二例ナリ。二、年齢。十歳乃至四十三歳、就中十一歳乃至二十歳ノ者多シ。三、職業。二十六例中二十一例ハ農

業ニ從事セリ。四、季節。一般ニ八月ヨリ十月ニ至ル
秋期ニ發生ス。五、誘因。田畑又ハ山地ニ於ケル農事
ニ因ルモノ十四例ヲ占メ、其他身體過勞濕潤飲水等
ニ因ル。

症狀。著者等ハ全經過ヲ發熱期恢復期ノ二期ニ分ツヲ
適當トセリ。

一、潜伏期及前驅期。

皮膚感染ト思ハルル三例ニヨレバ五乃至九日ノ潜伏期ヲ
有スルモノノ如シ。尙經口的感染モ可能ナラン。通常ハ
前驅期ヲ有セザルガ如シ。

二、第一期(發熱期)。

初發ヨリ六七日間ニシテ、其主徵ハ發熱・頭痛・全身倦怠・
眼球結膜ノ充血・腰痛・淋巴腺腫大・消化器症狀・白血球過多
症及蛋白尿等ニシテ、此時期ニハ患者ノ血液ヲ接種スル
事ニヨリ「モルット」ヲ感染セシメ得。

三、第二期(恢復期)。

發熱期ヲ經過スレバ直ニ恢復期ニ移行シ、下熱ト同時ニ
諸症狀緩解シ、漸次治癒ス。而シテ患者ノ血液中ニハ本
病原スピロヘータ」ヲ死滅融解スル免疫體ヲ發生ス。
今主要症狀ヲ綜覽セバ次ノ如シ。

發熱。常ニ惡寒ヲ以テ始リ、稀ニ戰慄ヲ以テス。發病

後第一日ニ於テ三十九度乃至四十度ニシテ二三日間稽
留シ第四日頃ヨリ漸次下降シ第七乃至九日頃ニハ三十
七度ヲ上下ス。下熱ハ普通分利狀ナルモ著者等ノ例ハ
多クハ散渙的ナリキ。

眼球ニ於ケル症狀。結膜充血ハ必發症狀ニシテ二三日

ニテ起リ下熱ト共ニ消失ス。稀ニ結膜黃疸ヲ伴フ。其
他輕度ノ眼球壓痛・一時性視力障礙ヲ訴フル事アリ。

筋肉ニ於ケル症狀。多クハ筋痛殊ニ握痛・腰痛ヲ伴フ。

消化器ニ於ケル症狀。舌苔・口渴・口臭等アリ。初發時

ヨリ惡心嘔吐ヲ訴ヘ、殆常ニ食思不振・腹部膨滿緊張及
壓痛ヲ伴フ。通常ハ便秘ス。肝臟ハ殆總テノ場合腫大

シ、甚ダシク硬ナラザルモ壓痛ヲ伴フ。

出血傾向。極メテ輕度ニシテ二十七例(研究室感染一

例ヲ加フ)中七例アリ。就中衄血三例、軟口蓋出血一

例、血痰一例、子宮出血一例等ヲ實驗セリ。

皮膚ニ於ケル症狀。顔面潮紅・發汗、稀ニ黃疸・浮腫ヲ來
ス。

呼吸器ニ於ケル症狀。輕度ノ氣管支加答兒ヲ起シ、咳

嗽喀痰ヲ訴フル事アリ。

循環器ニ於ケル症狀。初發時ヨリ脈搏ハ頻數ニシテ殆

常ニ一分間百至以上、通常大ニシテ稍軟弱ナリ。下熱

前二三日ニシテ常ニ尋常ニ復ス。發病後第五乃至第十一日ニ不整脈ヲ見タル者七例アリ。下熱後屢々脈搏減少ヲ來ス。心臟部ニ於テハ屢々汎發性搏動ヲ見、聽診上多クハ心尖第一音不統、時々収縮期雜音ヲ聽ク。肺動脈第二音ハ通常亢進シ、往々披裂ス。

血液・脾臟及淋巴腺所見。血液ニ於テハ、發病後第八乃至第十一日ニシテ赤血球減少ヲ來シ、殆常ニ赤血球ノ大小不同・多染性ヲ現ハシ、常ニ顆粒赤血球ヲ認ム。但シ恢復期ノ貧血ハ高度ナラズ。白血球ハ初メ増加スルモノニ萬ヲ超ユル事ナク多クハ第七日頃ヨリ尋常ニ復ス。初メ中性多核細胞ヲ、恢復期ニ淋巴球及好酸性多核細胞ヲ増加シ、其他發熱期ニハ常ニ多數ノチユルク氏刺戟型並ニ「プラスマ細胞ヲ認ム。

血液ヲ「モルモット」ノ腹腔ニ接種スルニ發病後第三日迄ハ陽性、第六日ヨリ陽性率劇減シ、第八日以後ハ全ク陰性ニ終ル。

脾臟ハ腫大セズ、淋巴腺ハ殆常ニ腫脹シ稍硬ク弾力性ニシテ壓痛アリ。診斷上必要ナル症狀トス。

神經系統ニ於ケル症狀。頭痛耳鳴・重聽・眩暈・睡眠障礙等アリ。顔貌ハ尋常或ハ興奮状態ニシテ時ニ輕度ノ無慾・苦悶状態ヲ呈ス。就中頭痛ハ必發シ、下熱ト共ニ消

失ス。膝蓋腱反射ハ初期ニ於テ消失或ハ減弱スル者多ク亢進スル事ナシ。

泌尿器ニ於ケル症狀。尿量減少シ、常ニ蛋白尿ヲ洩ス。

「デアツオ反應ハ約半數ニ於テ陽性、グメリン氏反應ハ少數ノモノニ陽性ナリ。尿沈渣中ニ顆粒性乃至硝子樣圓柱白血球・膀胱上皮細胞等ヲ證明ス。多クハ尿中ニ病原スピロヘータ」ヲ排泄シ發病後第十日迄ハ少數ニシテ漸次増加シ第四十日前後ニ至レバ再ビ證明困難トナル。

一般症狀。多クハ重篤ナラズ、恢復期ニ至レバ通常瘦削ス。

豫後。絶對ニ良好ナリ。

經過。初メ重症ナルガ如キモ發病後第七乃至第十四日ニ至レバ自ラ起居シ得、第二週終ヨリ第四週初ニ至レバ作業ニ從事シ得。

續發症。毛髮脱落・爪甲變形・視力障礙殊ニ硝子體溷濁等ヲ來ス。尙著者等ハ發病後第十四日ニテ兩側顔面神經炎ヲ起セル一例ヲ見タリ。其他顔面神經麻痺・多發性神經炎ヲ報告セル者アリト。

○「クロールカルシウム」ノ窒素代謝ニ

及ボス影響ニ就キテ

(結核雜誌第一卷第二號)

ドクトル 竹中繁次郎

著者ハ結核病ニ對シ屢々「クロールカルシウム」ノ應用セラルルニ拘ラズ其理論ノ闡明ヲ缺クニヨリ四頭ノ家兔ニ就キテ「クロールカルシウム」ノ窒素代謝ニ及ボス影響ヲ研索セリ、其結果著者ハ次ノ如ク云ヘリ。

一、「クロールカルシウム」ハ利尿ヲ多クス。

二、「クロールカルシウム」ヲ靜脈内ニ注射スレバ多クノ

場合ニ於テ窒素體內蓄積ヲ來ス、但シ時トシテ個性ニヨリ却テ窒素消費ノ増加スル事アルヲ注意セザルベカラズ。

三、「クロールカルシウム」ハ白血球ヲ増加スルモノノ如シ。

○結核感作ワクシン「治療報告 (一)」

(細菌學雜誌第二百七十六號)

本報告ハ結核感作ワクシン「ノ創製者志賀博士ヨリ該「ワクシン」ノ分與ヲ受ケ其臨床實驗ヲ依頼セラレタル諸家ノ志賀博士ノ質問ニ對スル解答ヲ輯メタルモノナリ。

結核感作ワクシン「ノ臨床的經驗

抄 録

醫學博士 佐藤 勳 也

佐藤氏ハ五十一名ノ肺結核患者及若干ノ其他結核患者ニ該「ワクシン」ヲ試用シ、該「ワクシン」療法ハ結核ノ初期ニ於テハ頗ル可良ナルモ、其治療成績ハ他ノ結核療法ニヨル成績ニ比シテ遙カニ優越スルモノナリトハ容易ニ判斷シ難シ、唯注射ノ簡便ニシテ何等條件ナキト其反應少ナク、殊ニ「アナフ^{*}ラキシ^{*}」様症狀ヲ來ス事殆ド無ク、加之往々却テ解熱セシムル効アル等ハ更ニ試用セントスル希望ヲ抱カシムト。

感作結核ワクシン「實驗成績

川村 六郎

川村氏ハ九十名ノ肺結核患者並ニ若干ノ爾餘結核患者ニ該療法ヲ試ミ、該「ワクシン」ハ反應殆ド無ク、且吸收頗ル可良ニシテ臨床上從來ノ諸種「ツベルクリン」劑中之ト比較スベキモノ無シト尙同氏ハ該「ワクシン」ノ靜脈内注射ニヨリテ十數年來持續シ來リ而モ諸他ノ解熱療法ノ奏効セザリシ頑固ナル微熱ヲ有セル一例ヲ治セシメ得タリト記セリ。

結核感作ワクシン「實驗報告書

加藤 好照

加藤氏ハ肺結核患者六名及其他ニ應用セルモ患者ノ中途

退院ニヨリ充分ナル効果ヲ見ル能ハザリキ。但シ該「ワクシン」注射ニヨリ反應熱ト認ムベキモノ殆ド無ク大抵体重ハ増加シ營養ハ可良トナルト云ヘリ。

結核感作ワクシン「治療成績

新津 宗 助

新津氏ハ肺結核患者三十七名及其他ノ結核患者ニツキテ實驗セリ。其著明ナル結果ヲ摘記スレバ、

一、重症結核ニ極少量ヲ注射セルニ突然腦膜炎ヲ起シテ斃レタル者二例アリ。或ハ注射ニヨリテ誘發セルモノカ。

二、肺結核、助膜炎、脊椎カリエス、頸腺結核、腎臟結核等ニ良好ナル影響ヲ及ボセル少ナカラズ。

三、妊娠中ノ患者三名ニ注射ヲ續行シテ孰レモ奇効ヲ奏シタリ。

等ニテ、同氏ハ適應症ヲ考察シテ患者ノ營養體質病變ヲ參酌シ、適當ノ分量ヲ以テ注射ヲ續行スルヲ可トスベク、肺結核ニハ各期ヲ通ジテ用ヒ得ベキモ、之ヲ早期ニ用フル事ハ最モ有効ナリト信ズト。

(以上三件、內科學教室橋本抄)

皮膚科學

○急性攝護腺炎ノ局部療法トシテノ

温水ト冷水トノ比較

(日本泌尿器病學會雜誌第七卷第三號)

堀 民 三

急性攝護腺炎ニ對スル局部療法トシテ從來肛門ヨリアルベルト氏冷湯器ヲ裝置シテ冷水ヲ灌注スル法及尿道ヨリウキンテルニック氏尿道冷湯管ヲ入レ温水ヲ使用スル法アリ二者何レガ治療上適切ナルカ實驗例四十例ニツキテ見ルニ其出血尿道促進鎮痛日數及消炎後ノ浸潤硬結等全經過ハ總テ溫熱療法ハ遙カニ優レリ。

○頭蓋外傷ニ因ル膀胱機能障礙ニ就テ

(日本泌尿器病學會雜誌第七卷第三號)

山 田 茂

頭部損傷後、意識溷濁セズシテ膀胱機能障礙ヲ來ス、例症數例ヲ擧ゲタリ是等ハ皆、脊髓疾患ナクシテ頭部ノ疾患又ハ損傷ニヨリ膀胱機能障礙ヲ來セルモノニシテ之ハ大腦皮質ノ上肢ト下肢運動中樞ノ間ニアル膀胱中樞ノ障礙ニ因ルモノニシテ其中樞部ヲ興奮スル原因ノ來ル時括

校長は温容を壇上に運び、謙遜の辭を述べて感謝の意を表されたり。終りて林副委員長閉會を告げ、直に大講堂に於て茶話會を開く、狂言、浪花節、喜劇等の餘興に一同頗る解き、後校長高安先生の萬歳を三唱して閉會したるは四時半なりき。

●實彈射擊 十月二十四日醫學科藥學科各第二學年實彈射擊舉行、曇時々降雨あり終る頃霞たばしりて矢竝つくるひし古武士を憶はするの日なりき、其成績は次の如し。

發射人員 百十一名。發射彈數 六百六十六發(一名六發宛)。總點數千三百十點。一名平均點數 十點八。一發平均 一點九。最優等者得點 三十九點、醫學科伊藤甚藏君、高島高文君。皆零者 十二名。欠席者 四十六名。

●三年級會記事 十月五日、土曜日、雨、午後三時より記念館樓上に三年級會を開く、先づ團野君の故乃木將軍の逸話に關する談話あり、次で下平教授の勉學訓、校長閣下の獨特の長壽論、兒玉教授の石川縣下赤痢菌型調査の旅行談、松原教授の雜話等有益の御講話ありき、尙ほ宮田、須藤、土肥、田村の諸教授御出席を得、幹生の幹旋にて茶菓を配し有志の尺八合吹『千鳥の曲』ありて級長林教授の閉會の辭を以て六時過ぎ和氣霽々の裏に散會せり。

會報

講話部記事

●全國學生雄辯大會 東洋大學主催に係る全國學生雄辯大會に本校より

中谷正知君出演す。當日の參加校名及各演題は次の如し。

時日 大正七年拾月拾參日午前十時

會場 東京市神田區三崎町明治會館

- 一、開會の辭 委員 鈴木榮 觀君
- 二、秋は今なり 農業大學 稻村 透君
- 三、未定 天台宗大學 伊藤海 聞君
- 四、日英同盟の成立を回顧して 慶應大學 中山政麻雄君
- 五、階級的紛争に對する倫理的解決 東洋大學 花圓淵 澄君
- 六、逆觀 宗教大學 三上善海君
- 七、新人果して何處にありや 明治大學 久保爲一君
- 八、先づ裸になれ 臨濟宗大學 岡本文 省君
- 九、今後の勞働問題 日本大學 本田誠二君
- 十、赦罪の程度と平和 立教大學 渡邊誠四郎君
- 十一、生命の糧 曹洞宗大學 竹内道 說君
- 十二、迷より迷へ 智山大學 岩村隆三君
- 十三、戰の生活 東洋大學 青木得淨君
- 十四、選舉區の推移と平和の戦ひ 専修大學 前田計男君
- 十五、忘却？獲得？ 京都佛專 松本德明君
- 十六、豐陵の叫び 豐山大學 小宮秀信君
- 十七、脱俗より還俗へ 一高 川原次吉郎君
- 十八、無我の力 東洋大學 杉本泰量君
- 十九、傳統論 佛敎大學 小倉佛性君
- 二十、眞理への奉仕と學の權威 早稻田大學 村上吉藏君
- 廿一、何ぞ日本國民たるもの尠なき

日蓮宗大學 久保田誠 縮君
廿二、醫學に及ぼせる文藝復興の影響

金澤醫學 中谷正知君

廿三、日本と來るべき大戰 東京高商 宮永進君

廿四、山嶺の靈感 國學院大學 遠藤泉君

廿五、日本に於ける老人万能主義の運命 高島米峰氏

廿六、佛國に於ける科學万能主義の運命

廿七、挨拶 教授 稻垣末松氏

廿八、世界の大勢 學長 境野黃洋氏

名譽學長 井上圓了博士

廿九、閉會の辭 委員 鎌田利衛門君

●弓術部大會

十月三十一日、天皇祝日午前九時より本校矢場に於て弓術部大會を開く、午前校内午後校外試合とす、參加校第四高等學校、第一中學校、第二中學校の三校各三名宛なり、午後四時過試合を終り紀念館に茶話會を催す、當日は八島師範の出席ありたり。

午前校内試合 尺二的(五手)數取

一等、六中、小栗。二等、四中、石川。三等、四中、星。四等、四

中、米澤。

午後校外試合 尺的(十本)數取

一等、九中、前田(二中)。二等、七中、石川(本校)。三等、六中、大川(一中)。四等、五中、小栗(本校)。五等、五中、坂本(四高)。六等、四中、星(本校)。七等、四中、中田(一中)。

金的 不中

●遠足部記事

●俱利伽羅峠遠足 十一月三日、日曜、曇、午前八時淺野川大橋出發、

北陸街道を北進して森本、津幡を過ぎ竹の橋を経て俱利伽羅の舊道にかゝる、霜枯の草を踏みて登る事約一時間、平坦地に達したれば此處に辨當を開き附近の一民家にて甘藷を煮さしむ、傍の小丘に立てば眺望廣闊、北方近く寶達山横り呼べば答はんとす、其の左右に展開するは加越の平野なり、平野の盡くる所、日本海雲煙模糊たり。憶へば治承の昔義仲火牛の奇計を用ひて平家十萬餘騎を追ひ落してより茲に六百餘歳、今蓬絶に草枯れ、紅葉風なきに散り當年の哀を吊ふ、頂上に一字あり傍の石に芭蕉の名吟「義仲の寢覺の山か月悲し」の句を刻めり、歸路を新道に採る此の邊紅葉特に愛すべし、歸澤すれば將に八時、參加者十一名、行程十一里。

●深谷鑛泉遠足 十一月十七日、日曜、晴、森本、津幡を経て加賀爪村に到り前田松雲公を祀れる加賀神社に詣す、再び森本へ引き返し、茲より深谷街道を取る、兩側の山は紅葉に覆はれたり、十餘町にて鑛泉に達す三軒の客舎あり、石屋と云へるに入り晝食を喫す、浴槽は清淨にて心氣爽快なり、階上に浴後の体を横れば、山は眼前に迫り滿山の紅葉霜に飽きて二月の花より紅なり、宮田部長より柿を贈與され半日の快を盡して六時歸澤、參加者二十五名、行程六里。



叙任及辭令

叙勳六等授單光旭日章

正七位 安江芳雄

●陸軍省

(十一月十日)

東京砲兵工廠附陸軍一等軍醫 佐野愛二

臨時陸軍檢疫所々員被仰付

陸軍運輸部本部附陸軍一等軍醫 吉川友信

臨時陸軍檢疫所々員兼勤被仰付

●海軍省

(十一月十日)

海軍少軍醫 高橋豐

免霧島乘組補第三十二驅逐隊附

●石川縣

(十月二十三日)

石川縣警察醫 今越理作

願ニ依リ職務ヲ免ズ

(十月二十九日)

金澤病院醫員ヲ命ズ、十三級俸給與 米谷徹三

眼科部勤務ヲ命ズ

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

●内閣

(九月二十五日)

任陸軍一等軍醫

陸軍二等軍醫從七位 安江芳雄

(十月三十日)

文部省學校衛生官從六位勳六等醫學博士 北豐吉

陸軍高等官四等

(十一月七日)

公立專門學校教授醫學博士 岡島敬治

依願本職ヲ免ス

●宮内省

(九月二十五日)

叙正七位

從七位 安江芳雄

(十月二十一日)

叙從七位

勳七等 佐々城清臣

(十月三十日)

叙從五位

正六位勳五等功五級 増田貞吉

(十一月二十日)

叙正六位

從六位勳六等醫學博士 北豐吉

●賞勳局

(九月二十五日)

人事

- 岡島敬治氏(三四) 別項辭令の如く京都府立醫學專門學校教授を辭せられたる同博士は今回上京、東京市麴町區下二番町十二番地に轉住せらる、右は仄に聞く處によれば愈々新設の慶應醫科大學解剖學教授に榮轉せらるゝが爲めなりと慶賀の至りと謂ふべし。
- 北村米三郎氏(大正四) 卒業後金澤市内淺野川病院主任として勤務せられしが今回大阪商船株式會社に入り船醫として勤務。
- 石川濟氏(大正七) 金澤病院皮膚科土肥博士の下に研究生たりしが今回内務省防疫員となり廣島縣衛生課勤務として赴任。
- 楠田利一郎氏(大正元) 越後西頸城郡梶屋敷に轉居。
- 武安五郎氏(大正五) 大阪緒方病院に奉職の處今回金澤市小立野牛塚醫院主任として勤務。

●三輪敏夫君(醫學科第三學年)、石橋有次君(醫學科第一學年) 通常會員たる兩君は過敏流行性感冒に罹り終に死去せらる謹んで弔意を表す。

會告

●自大正七年十月廿六日校外特別會員會費受領報告
至全 十一月廿五日

金額 期限 氏名
金貳圓五拾錢 大正七年度分 富居恒松殿

人事會告

金五圓也 自大正八年度二ヶ年分 三浦大三郎殿
金貳圓五拾錢 大正七年度分 岩月昇平殿
金五圓也 自大正七年度二ヶ年分 上村貫三殿
自大正八年度二ヶ年分

會員各位に告ぐ

本會員諸君にして本誌上に廣告掲載を希望せらるゝ向は爾今實費を以て貴需に應ずべく其節は廣告原稿御送附相成度候就ては早速來新年賀詞掲載御希望の向は本月十五日迄に原稿當部へ御送附相成度候也

大正七年十二月一日 十全會雜誌部

●正誤 前號雜報中故安江芳雄氏が金鷄勳章を拜受したる旨記載せしは誤聞に付此に訂正す。



講話大會廣告

期 日 十二月八日

場 所 金澤醫學專門學校大講堂

開 會 午前正九時

當日は二三名士の講演も有之筈ニ候へば萬
障御繰合せ御出席被下度候尙出演御希望の
御方は演題至急御一報願上候

大正七年十二月一日

金澤醫學專門學校十全會講話部

會
員
名
簿

會員名簿

●名譽會員

大阪府立大阪醫科大學外科教室
京都醫科大學解剖學教室

中濱東一郎
木村孝藏
鈴木文太郎
櫻井小平太
山碓幹

●贊助會員

愛知縣幡豆郡西尾町西尾病院
內務省衛生局
福岡醫科大學法醫學教室

東京陸軍醫學學校
栃木縣宇都宮市宇都宮病院
岡山醫學專門學校
大阪市北區絹笠町同生病院內
中華民國北京醫學專門學校

山田謙治
田中正鐸
野田忠廣
高山正雄
小林文泰
岩田一
松浦龜太郎
上坂熊勝
鬼頭英
阿部莊二
村上庄太

會員名簿

東京學習院

長崎醫學專門學校

●本校職員特別會員

金澤病院婦人科教室

加藤寬
佐々木遠
脇坂慶造
北條時敬
湯目隆緒
堤從清
松田菊治
浮田愛治
福士政一
上田計二
柴野順吾
加藤靜雄

(ア) 安達友直
(イ) 石坂伸吉
(ウ) 内田豊咲
(エ) 江川定夫
(オ) 大田榮夫
(カ) 押野芳孝
(キ) 金子治郎
加藤直三郎
川島俊
加藤誠四郎

會員名簿



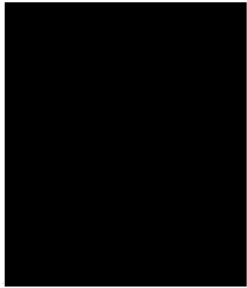
京都醫科大學藥物學教室
金澤病院レントゲン科



金澤醫學專門學校衛生細菌學教室



金澤醫學專門學校病理學教室



加藤信智

河村榮安

(キ) 北川勝末

(ク) 藏光長次郎

窪田小市

(コ) 兒玉豐治郎

近藤清吾

小池才一

(サ) 佐口榮

佐々城清臣

(シ) 下平用彩

清水亮

(ス) 須藤憲三

鈴木小三郎

(タ) 高安右人

田村昌

田中一次郎

(ト) 垂水正保

土肥章司

(チ) 得田與吉

中村八太郎

(ナ) 内藤得之助

中島甚作

(ニ) 西村真一郎



金澤醫學專門學校生理學教室



(ハ) 林 篤

林 常雄

坂東三範

(ヒ) 平澤又吉郎

(ホ) 堀 正平

(マ) 松原三郎

(ミ) 宮田篤郎

宮野武雄

三宅次吉

(ム) 村田金太郎

村松金次郎

(ヤ) 山本直枝

山本兵三郎

八島爲晴

山田忠三郎

(ヨ) 吉野 巖

吉田宗一

●特別會員

了ノ部



(廣野) 赤倉喜久雄 (三)

天野幸二郎 (三)

安宅治六 (三)

青木正枝 (三)

富山縣西礪波郡津澤町字箕輪箕輪病院

兵庫縣立神戸病院

久留米歩兵第四十八聯隊

廣島騎兵第五聯隊附

朝鮮仁川仁川病院

神奈川縣河崎在淺の工場病院

富山市日本赤十字社支部病院内

岡山輜重兵第十七大隊附

朝倉重敏(三)

有壁一雄(三)

甘利昇(三)

淺利義治(三)

菅澤孝治(三)

安積鼎(三)

青木市次郎(三)

芦澤照(三)

秋山八百藏(三)

秋野定吉(三)

青山寛之(三)

阿部慧治郎(三)

赤尾肇三(三)

天野長重(三)

朝日昊(三)

荒川正雄(三)

天野隆義(三)

淺野達也(三)

淺井泰(三)

阿波加憲吉(三)

新八郎(三)

芥川信(大二)

淺井貞準(大二)

有山武兵衛(大五)

赤祖父三郎(大六)

秋永清海(大六)

青山太郎(大六)

明瀬太竝(大七)

朝日薰(大七)

荒井梅子(准特)

(加藤) 阿部慧治郎(三)

(伊藤) 新次郎吉(三)

京都帝國醫科大學中西内科

敦賀歩兵第十九聯隊第四中隊

東京市築地海軍々醫學校乙種學生

イノ部

出征中

北滿洲齊。哈爾日本赤十字病院
神奈川縣浦賀町字大津一二九一、
(重砲兵射擊學校附)

弘前市坂本町弘前女學校向
名古屋監獄醫務局

飯森益太郎(甲醫)

石崎喜一郎(甲醫)

池田耕(三)

池田秀雄(三)

飯塚忠男(三)

伊藤禮二(三)

伊藤善之助(三)

稻坂清八(三)

猪木彦助(三)

池田恒太郎(三)

石橋四郎(三)

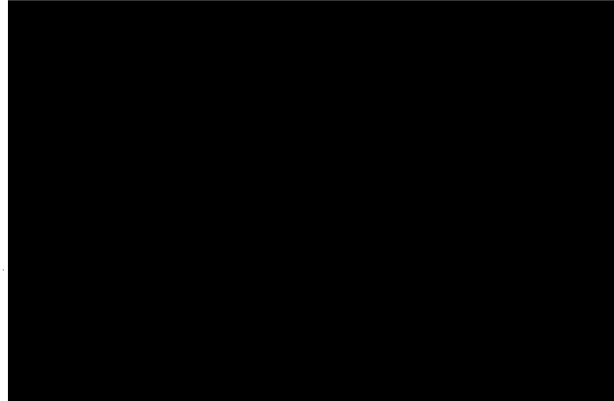
鴨脚光榮(三)

岩崎勝治(三)

池田菱吉(三)

會員名簿

埼玉縣浦和町、伊藤醫院内



伊藤 二郎(元)

(米澤) 岩津 知造(元)

石橋 三也(元)

岩佐 兵藏(元)

石坂 直次郎(元)

井本 清吉(元)

(高谷) 今井 七兵衛(元)

井上 松三郎(元)

稻崎 重助(元)

池田 茂(元)

伊坂 春(元)

井上 元(元)

岩井 尊宗(元)

(寺田) 五十嵐 久十郎(元)

今井 外吉(元)

伊藤 善次(元)

石川 玄知(元)

石川 精一(元)

伊藤 精一(元)

石譯 太作(元)

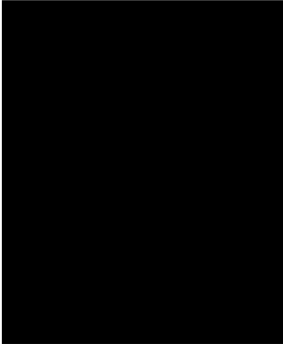
磯貝 一賀(元)

石川 元良(元)

岩間 定雄(元)

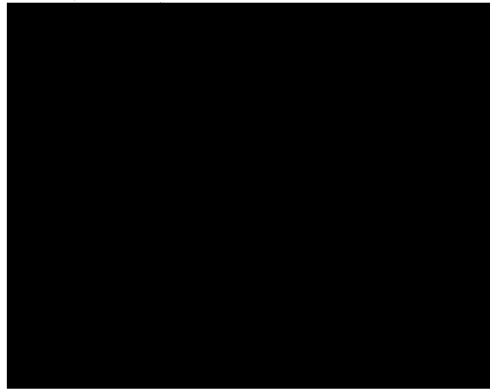
池上 豊(元)

南支那厦門厦門醫院



福知山工兵第十大隊

新潟縣高田市高田病院産婦人科



井土 又吉(元)

岩佐 利一(大元)

伊藤 芳廣(大元)

稻垣 久實(大元)

今村 欽夫(大元)

(中原) 石川 重吉(大元)

池浦 渡(大元)

池田 謙壽(大元)

石川 清次(大元)

石黒 四郎(大元)

石田 宏(大元)

今越 理作(大元)

岩崎 宅次郎(大元)

井澤 篤治(大元)

入澤 伴次(大元)

井上 啓太郎(大元)

岩月 昇平(大元)

岩倉 以内(大元)

井東 勇(大元)

伊與美 代丸(大元)

伊東 政外(大元)

石川 濟(大元)

伊藤 喜平(大元)

岩瀬 信雄(大元)

今田 俊英(大元)

山形縣最上郡大藏鑛山醫局

本校醫學教室

高崎市宮元町十五、乾醫院内

長野市赤十字支部病院



廣島縣衛生課



長野赤十字社病院

ウノ部

岩切一郎(大七)

越後高田病院内

神戸市東川崎町一丁目鐵道院官舎一六
金澤歩兵第三十五聯隊附



エノ部

東京市四ツ谷區葺笥町、江藤病院

- 上野貞吉(甲醫)
- 上原秀三(甲醫)
- 上野忠(三七)
- 内田貞春(四〇)
- 宇野正(四〇)
- 植木信親(四〇)
- 白井文吉(四〇)
- 上木隆基(四一)
- 梅岡幸三(四一)
- 上野善造(四二)
- 梅澤亮吉(四二)
- 植西武彦(四四)
- (湊) 宇佐美保久(四四)
- 宇賀治元造(四四)
- (北島) 上野辰太郎(大元)
- 上島耕治(大元)
- 宇佐美宗雄(大六)
- 海沼治亮(大七)
- 江藤潤一(三七)
- 江村正也(三八)

會員名簿

ヲノ部

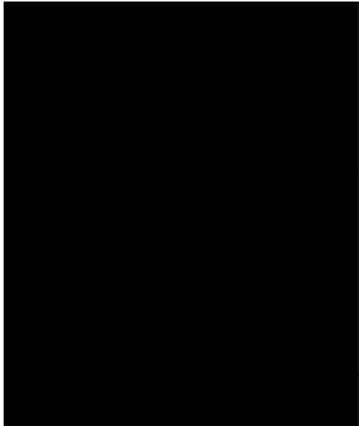
江守武(三八)

東京市芝區慈惠醫學專門學校生理學教室

佐世保、軍艦河内軍醫長



山形縣山形市山形衛戍病院長



- 大木則雄(甲醫)
- 沖野彌一郎(甲醫)
- 大屋保治(甲醫)
- 大井精(甲醫)
- 岡本京太郎(二四)
- 太田他計作(三三)
- 生沼曹六(三三)
- 大橋豐(三三)
- 大西瀨治(三三)
- 太田精一(三三)
- 大塚正一(三三)
- 大口富次(三三)
- 太田長作(三三)
- 尾倉一英(三三)
- 小幡學雄(三三)
- 小野謙三(三三)
- 折口靜(三三)
- 岡田總太郎(三三)
- 岡田甚英(三三)
- 尾崎平吉(三三)
- 小田利吉(三三)
- 小野林利一(三三)

會員名簿

福岡縣門司市陸軍運輸部

步兵第十五聯隊附

和歌山市歩兵第六十一聯隊

朝鮮中清北海道清洲慈惠醫院

弘前騎兵第八聯隊

石川縣警察部内

老川雪房(四〇)

岡一雄(四〇)

岡田秀造(四〇)

太田勳市(四〇)

大藪關重(四〇)

長村吉太(四〇)

岡忍(四〇)

岡崎虎次郎(四〇)

岡勝重(四〇)

小田善壽(四〇)

奥山正雄(四〇)

大住惠(四〇)

大原米次郎(四〇)

大野幸重(四〇)

岡村晋(四〇)

織田信義(四〇)

大井良八郎(四〇)

小野澤庄桂(四〇)

太田卯三郎(四〇)

(茨木)大橋忠俊(四〇)

太田尙男(四〇)

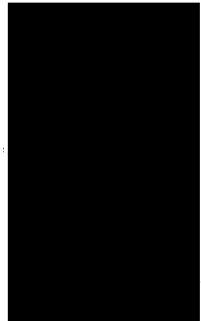
表宣明(四〇)

岡久雄(四〇)

奥山義盛(四〇)

小幡一志(四〇)

臺灣花蓮港廳下吉野醫院



(出征中)

第三師團出征中

神戸市東山病院



臺灣山砲兵第一中隊

京都帝大醫科大學解剖學教室内



東京市京橋區一ノ二、南胃腸病院



野砲兵第十六聯隊附

大阪市東區道修町四丁目二、高安病院



大阪市東區北久太郎町一丁目、濱地病院



東京築地海軍々醫學校

大武國治(四四)

荻野鶴治(四四)

大場市男(四四)

(池田)太田恒道夫(四四)

大中正治郎(四四)

大島重雄(大元)

大脇彌平(大元)

岡本晃(大二)

大瀧經(大二)

太田喜作(大三)

太田外茂次(大三)

岡本規矩男(大四)

大谷顯治(大四)

大前發治(大四)

岡部博(大四)

乙部元治(大四)

大井逸雄(大四)

大川茂作(大五)

奥野和三郎(大五)

岡山三郎(大六)

奥澤寬次(大六)

荻野米藏(大六)

太田泰造(大六)

岡島俊一(大六)

大武喜代治(大七)

大阪市東區北濱三丁目、松岡外科病院内

力ノ部

大屋 正志(大七)
岡田 美好(大七)
大岸 鹿(准特)

加藤 慶三(甲醫)

河村 賢太郎(三)

金子 太須計(元)

河合 鷹(三)

河村 多郎(三)

梶川 藏重(三)

上坂 政太郎(三)

輕部 修一(三)

神坂 勇治(三)

片岡 正(三)

片山 良作(三)

加納 景成(三)

鎌田 勘之助(三)

河崎 有作(三)

河合 忠次(三)

神岡 藤一郎(三)

勝 股 亨(元)

影山 清美(元)

加藤 敏作(三)

春日 望(三)

東京帝國醫科大學衛生學教室

富山縣富山市諏訪河原町、富山耳鼻咽喉科醫院

支那天津日本租界、日本共立病院

遼陽衛戍病院

(竹中) 加納 精一郎(四)

加藤 健之助(四)

河崎 正雄(四)

河合 勝(四)

河口 賀真(四)

金子 義長(四)

鎌尾 萬明(四)

韓 清 泉(四)

梶川 靜夫(四)

梶川 甚一(四)

蚊野 才三郎(四)

勝部 方策(四)

川崎 盛道(四)

角田 眞一(四)

上池 林次郎(四)

蒲田 外之助(四)

垣 内 昇(四)

川上 操一(四)

加瀬 順之助(四)

勝木 千尋(四)

上村 貫三(四)

柏倉 藤次郎(四)

加 勢 基(大元)

金田 友三郎(大元)

中華民國浙江省杭州浙江省公立病院

新潟醫學專門學校附屬醫院

金澤衛戍病院附

石川縣七尾町字龜山町二、七尾診療院

姫路第十師團軍醫部

會員名簿

大阪市東區瓦町一丁目、華中堂病院

滿洲撫順病院

富山縣高岡市千木屋町、大澤河合診療院

大阪市西區本田通一丁目
日本海員救濟會大阪病院
濱松歩兵第六十七聯隊附

金澤市飯森病院內

福井縣敦賀病院

大阪市東區道修町四丁目、高安病院

本校病理學教室

新潟市上天川通、竹山病院內

歩兵第七聯隊第十一中隊、見習醫官

キノ部

川村二郎(大元)

川原武夫(大二)

金子貞吉(大三)

川久保俊一(大四)

神内正範(大西)

上出正男(大四)

川越清造(大五)

川北隆吉(大五)

金子周吉(大五)

柏水正章(大六)

神吉淳(大六)

柿野二太郎(大六)

河合眞治(大六)

金田靜治(大六)

河村長治(大六)

加藤豐彦(大六)

川端榮三吉(大七)

寛一(大七)

垣見健三(大七)

川合豊(大七)

河邊俊吾(大七)

北川友二郎(三五)

喜多養元(二八)

福井縣敦賀病院

連山關獨立守備歩兵第四大隊附

朝鮮羅南衛戍病院

小樽區稻穂町、鎌倉病院

北海道札幌苗穂町、私立木根淵病院

大阪商船會社醫務局

神戸市攝津病院

金澤市野町五丁目、後藤醫院內

北豊吉(三〇)

木下克雄(三〇)

北川健三(三一)

近郷重孝(三一)

菊地文岱(三二)

北川光雄(三二)

木谷義太郎(三三)

木越豊松(三三)

北村一清(三三)

北川文松(三三)

北村裕壽(三三)

木下倉太郎(三四)

北村清太郎(大元)

喜多禎次(大元)

北浦徳太郎(大元)

木村豊三郎(大三)

北村誠吾(大三)

北村信定(大三)

木根淵清(大三)

北村米三郎(大四)

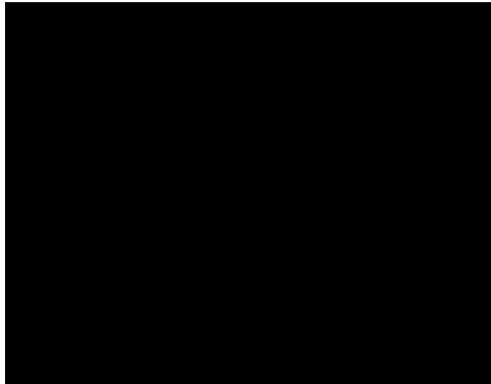
桐田健三郎(大四)

桐林茂(大五)

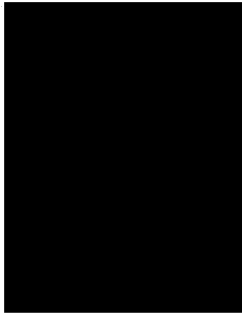
岸良一(大五)

北村久太郎(大六)

クノ部



第九師團軍醫部



千葉縣國府臺野砲兵第十七聯隊
金澤市彦三八番丁、金城療病院
神戸市縣立神戸病院

會員名簿

- 久保 武(三三)
藏 尙太郎(三三)
桑 折直(三五)
熊澤清隆(三五)
久保襄一郎(三七)
黒田眞岳(三六)
久保田保治(三六)
窪美 一久(三六)
來間隆次(三六)
熊西中藏(三六)
草野佐一郎(三六)
桑島柳吉(三六)
久我 龜(三六)
黒田道純(三六)
桑原益方(三六)
栗林 信(三六)
(佐々木)
久保田 宮太郎(三六)
日下辰吉(三六)
久高唯忠(三六)
國田武雄(三六)
栗本保身(三六)
楠野末太郎(大元)
楠田利一郎(大元)

滋賀縣日本赤十字社滋賀支部病院

石川縣能美郡遊泉寺嶺山事務所醫局

札幌北辰病院

横濱市于安町、岡村醫院方

クノ部



コノ部



石川縣小松町、國分病院



- 久保井末造(大二)
窪美 真(大三)
窪田他作(大四)
窪田 忍(大六)
楠 教 惠(大七)
藏野覺藏(大七)

- 計見雄藏(三七)
源明藤吉(大元)

- 古丸藤三郎(甲醫)
國分金城(三三)
高口保太郎(三三)
小林茂樹(三三)
小西俊三(三三)
越野義三郎(三三)
小島佐藏(三三)
駒井定哉(三三)
小山庄治(三三)
越田信吉(三三)
小島顯治(三三)
小山田 基(三三)
後藤義賢(三七)

會員名簿

樺太廳醫院大泊分院
舞鶴軍港、軍艦日進

臺灣新竹醫院

廣島工兵第五大隊

大阪府高槻工兵第四大隊附
神戸市和田岬、三菱病院内科
臺灣總督府宜蘭醫院

豐橋歩兵第十八聯隊第一中隊、見習醫官

竹ノ部

坂井迪太郎(三)

近藤 勇 記(三)

小出貞次郎(三)

近藤 琢 磨(三)

小高仰四郎(三)

小林唯四郎(四)

小西孝憲(四)

駒田一正(四)

小暮喜一(四)

(安藤) 後藤 佐 吉(四)

小鷹利三郎(四)

小島隆義(四)

小西眞清(四)

近藤時男(四)

小泉義久(四)

小林良二(四)

駒田作之進(大元)

小池 勇 助(大元)

于安頼義(大元)

小島 昇 三(大元)

駒田作兵衛(大元)

米谷 徹 三(大元)

小 西 敬(大元)

東京府下目黒火藥製造所醫務室

金澤病院外科二部

弘前歩兵第三十一聯隊

臺灣歩兵第一聯隊

澤田定信(四)

澤 賢 吉(四)

酒井政吉(三)

崎 達 郎(三)

柿 原 久(三)

佐伯亮齊(三)

齊藤義雄(三)

齊藤賢徳(三)

佐野愛二(三)

佐々木純一郎(三)

齊藤房治(三)

坂本信一(三)

佐崎伊久(三)

笹田順二(三)

酒井利勝(三)

澤田辰造(三)

坂 井 茂(三)

佐藤 武(四)

笹岡芳名(四)

才田猶次(四)

齊藤銀一郎(四)

酒井碩治(四)

佐竹清吉(四)

坂本修吉(三)

佐竹秀一(四)

栃木縣日光奧西澤、金山醫局内



横濱市日本郵船會社横濱支店衛生課



臺灣總督府臺東醫院



金澤病院小兒科



神戸市中山手通八丁目、天兒研究所

金澤市殿町病院

神戸市兵庫魚棚町、私立鶴飼病院内



シノ部

後志國壽都郡壽都病院

小倉市第十二師團軍醫部(出征中)

東北大學醫科大學解剖教室

新潟醫學專門學校



水戸衛戍病院

佐々木茂樹(四)

齊藤友一(四)

齊藤祐男(四)

佐藤祐造(四)

齊藤金則(大元)

佐藤邦次郎(大元)

佐藤彌一郎(大元)

齊藤喜晴(大三)

佐伯義久(大四)

澤本義信(大四)

佐々木茂雄(大四)

佐野四郎(大五)

佐野雄平(大五)

齊藤久保(大六)

笹川竹藏(大七)

相良總六(大七)

鹽井竹次郎(三)

篠尾明濟(三)

敷波重次郎(三)

島田吉三郎(三)

重本儀介(三)

澁谷孝慶(三)

清水秀夫(三)



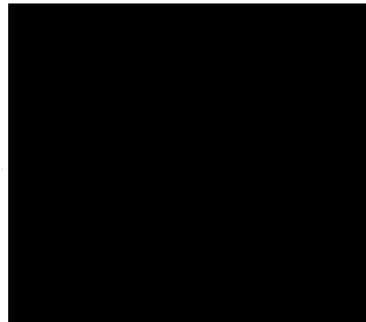
小倉市外篠崎官舎



石川縣江沼郡大聖寺町、江沼郡立病院



長野縣諏訪郡平野製糸共同病院



滋賀縣犬上郡豐郷村字四十九院

中華民國北京八角琉璃井醫學專門學校

島 誠 郁(三)

下村義二郎(三)

島村伊之助(三)

城 起吾老(三)

庄司正義(三)

城石健治(三)

柴原外男(三)

柴田順三(三)

七五三龜吉(三)

下條正夫(三)

白井 濟(四)

島田義一(四)

城谷隣賢(四)

新谷成三郎(四)

莊田芳根(四)

清水義成(四)

寺境壽貞造(四)

重松盛勝(四)

柴田綱三(四)

白石福三郎(四)

重田 稔(四)

清水憲策(四)

志村猪藏(四)

重森平一郎(四)

周 頌 聲(四)

會員名簿

臺灣臺南醫院耳鼻喉科



東京第一衛戍病院附

青森縣廳衛生課

金澤病院外科一部

北海道札幌區札幌病院



又ノ部

東京海軍々醫學校



三重縣津衛戍病院



青島萬年兵營

島根縣杵築町、鈴木醫院



島田 靜男 (四)

重野 諦 (四)

白木 孝一 (四)

柴田 一男 (大三)

柴山 金雄 (大三)

柴田 周吉 (大五)

白石 又城 (大五)

下坂 伊織 (大六)

鈴木 寛之助 (元)

末岡 外次郎 (元)

駿河 尙庸 (三)

杉山 政長 (四)

須田 嘉三郎 (三)

須藤 庄太郎 (三)

杉田 治十郎 (三)

鈴木 實 (三)

杉本 恒治 (三)

菅野 萬平 (元)

洲崎 歸一 (元)

鈴木 俊定 (元)

鈴木 修一 郎 (四)

鈴木 啓一 郎 (四)

杉下 孝造 (四)

廣島衛戍病院附(出征中)



朝鮮全羅南道光州慈惠醫院



金澤野砲兵第九聯隊

大阪市西區四條通り二丁目、大阪築港病院

大阪歩兵第三十七聯隊第五中隊

臺灣臺南醫院

靜岡市立靜岡病院

東京神田區猿樂町、延壽堂病院

東京市日本橋區本材木町二丁目、北村胃腸病院内

七ノ部

步兵第七聯隊醫務室

出征中



鈴木 於菟吉 (四)

鈴木 琢磨 (四)

鈴木 留次 (四)

鈴木 伊作 (四)

杉山 貞二 (四)

鈴木 彌 (四)

鈴木 英男 (四)

鈴木 正孝 (四)

鈴木 忍 (四)

住田 立 (四)

杉原 周輔 (大元)

杉本 孝吉 (大三)

鈴木 信友 (大四)

鈴木 外男 (大四)

菅井 景治 (大四)

須崎 敏雄 (大五)

隅越 德太郎 (大六)

鈴木 外茂治 (大七)

瀬尾 順四郎 (甲醫)

千田 常外 (三)

仙場 松齋 (四)

説田 順一 (四)

關根 平 (四)

中華民國浙江省杭州、浙江省公立病院

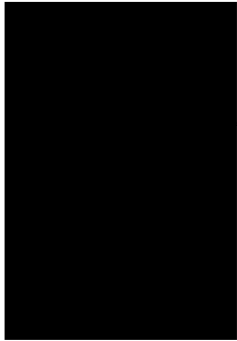
京都醫科大學微生物學教室

リノ部



- 錢 崇 潤 (四)
- 關 承 五 (四)
- 仙 波 宏 造 (四)
- 關 嘉 一 (大五)
- 蘭 悌 次 郎 (大四)

夕ノ部



同 縣今立郡鯖江衛戍病院長

栃木縣上野賀郡足尾鑛業所本山醫局内

吳海軍病院肥前軍醫長



- 高 辻 喜 作 (二七)
- 高 澤 甚 作 (二七)
- 武 田 久 米 藏 (二八)
- 橋 董 (二九)
- 竹 中 繁 次 郎 (二九)
- 橋 左 内 (三〇)
- 高 岡 榮 (三〇)
- 竹 多 乙 三 郎 (三一)
- 田 代 保 二 (三一)
- 田 中 健 治 (三一)
- 田 中 正 一 (三一)
- 田 上 清 貞 (三一)
- 武 田 正 壽 (三一)
- 高 松 岩 吉 (三一)
- 竹 松 衛 (三二)
- 高 田 文 齋 (三二)

第十二師團軍醫部(出征中)

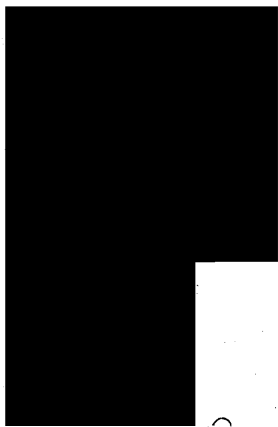


金澤病院外科一部



- 館 昇 榮 (三)
- 高 橋 半 也 (三)
- 高 崎 二 郎 (三)
- 高 伊 三 郎 (三)
- 種 子 田 秀 吉 (三)
- 谷 澤 一 郎 (三)
- 高 橋 八 郎 (三)
- 建 部 鈴 次 郎 (三)
- 高 桑 勇 次 郎 (三)
- 龍 田 恭 齋 (三)
- 館 保 二 (三)

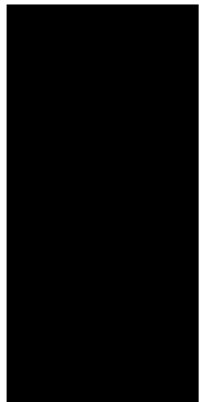
(藤井)



對警馬備步兵大隊

金澤市殿町病院

京都府紀伊郡深草村、第十二師團軍醫部



- 谷 道 清 (四)
- 高 井 魯 一 (四)
- 鷹 見 義 那 (四)
- 竹 中 徹 (四)
- 高 木 安 治 (四)
- 田 中 三 彌 (四)
- 高 澤 冠 一 (四)
- 田 山 退 一 (四)
- 高 田 茂 一 (四)
- 武 內 清 作 (四)
- 田 濱 仙 次 郎 (四)
- 武 波 峯 吉 (四)
- 田 中 精 一 (四)
- 高 野 政 二 (四)

會員名簿

島根縣松江步兵第六十三聯隊

同 縣河北郡宇ノ氣病院

九州帝國醫科大學耳鼻科醫局

滿洲奉天南洲醫學堂中島

金澤病院外科一部

和歌山市步兵第六十一聯隊醫務室

長野縣長野赤十字支部病院

(牧田) 田口 泰 (四)

竹內義一郎 (四)

竹村茂三 (四)

竹松常雄 (四)

高崎英彦 (四)

高田信弘 (四)

(折笠) 竹園圓隆 (四)

谷口 明 (四)

田中信一 (四)

田島耕平 (四)

田村 實 (四)

高橋壽朔 (四)

田中康弼 (大元)

武田良海 (大元)

武內勉二 (大元)

(中西) 田中吉左衛門 (大元)

高崎文雄 (大二)

棚田喜久雄 (大二)

田尻秀雄 (大三)

高森友正 (大三)

高橋甚一 (大四)

田村惣七 (大四)

竹重信二 (大四)

竹内又佐 (大五)

橋進之丞 (大五)

金澤市小立野、牛塚醫院内

愛媛縣新居郡新居濱、住友病院内

東京鑛務署

富山縣伏木町、堀病院

本校細菌學教室

本校醫化學教室

子ノ部

武安五郎 (大五)

丹 忠一郎 (大五)

棚橋巳之助 (大六)

田村政太郎 (大六)

高山茂樹 (大六)

高橋 一 郎 (大六)

武内宗四郎 (大七)

伊達文次 (大七)

竹内慶治郎 (准特)

千葉玄也 (三)

中條俊夫 (三七)

近澤信盛 (大元)

中條隆之助 (大元)

長 外喜男 (大元)

ツノ部

津川 恒 (甲醫)

辻岡 律 (三)

辻本辰之助 (三)

月原秀範 (三)

土屋重俊 (三)

塚原千津馬 (三)

津田博通 (四)

中華民國天津日本租界旭街、共立病院

大阪府泉北郡上條村天津町南濱寺

廣島歩兵第十一聯隊附

東京市芝區赤羽、濟生會病院産婦人科

長野赤十字社支部病院

予ノ部

トノ部

塚崎 茂 (四〇)

塚本 富彦 (四〇)

月岡 勝治 (四二)

辻井 禮太郎 (四二)

塚本 政次 (四三)

坪田 義門 (四三)

坪井 清澄 (四四)

鶴木 政雄 (大二)

鶴見 元雄 (大五)

坪田 耕造 (大六)

坪川 實 (大六)

都 筑 剛 (大六)

(壺谷)

寺 本 義 一 (三〇)

寺 尾 敬 三 (四四)

傳 田 昶 (大五)

寺 田 正 周 (大六)

富澤 圭太郎 (三七)

戸田 伊代治 (三四)

鳥飼 尹重 (三四)

富田 敦貴 (三七)

戸谷 慈一 (三九)

中華民國北京醫學專門學校

第九師團軍醫部

神戸市立屯田療養所醫員

富山市外富山腦病院

本校病理學教室

臺灣臺中醫院官舎

十ノ部

刀稱 有恒 (三九)

富田 寛 (三九)

遠山 正輝 (四〇)

(三田村) 富田 直 (四〇)

遠山 繁 (四二)

徳久 恒治 (四三)

轟 茂 (四三)

堂坂 友作 (四三)

湯 爾 和 (四三)

豐田 今吉郎 (四四)

鳥居 環 (大元)

時國 恒 夫 (大元)

徳 茂 隆 (大元)

富居 恒 松 (大六)

土肥 秀太郎 (大六)

登谷 次 男 (大七)

得 田 易

中川 幸 庵 (三七)

中野 玄 次 (三三)

中野 才 幸 (三三)

中村 弘 齋 (三四)

中元 長 三郎 (三五)

中島 誠 (三七)

會員名簿

新潟縣高田市中小町、成澤醫院
旅順要港部附海軍々醫



日本赤十字社大阪支部病院
伏見工兵第十六大隊附

京都醫科大學法醫學教室



神戸市川崎造船所葺合工場醫局



栃木縣日光町古河合資會社
日光電氣精銅所病院內



福島市福島病院

中島喜作(三七)
成田成治(三〇)

成澤輝一(三一)

長井運男(三〇)

中西島吉(三〇)

中川喜平(三〇)

中村德藏(三〇)

長澤安弘(三〇)

中須熊藏(三〇)

並河權六(三〇)

中谷正範(三〇)

(山田) 並河茂樹(四〇)

名取博三(四〇)

中川善松(四〇)

長久開一(四〇)

中谷内善雅(四〇)

並河正雄(四〇)

中川良忠(四〇)

内藤三太郎(四〇)

中田盈疇(四〇)

中川久成(四〇)

中田德二(四〇)

中本和三郎(四〇)

(相馬) 中山甲五郎(四〇)

内藤隆治(四〇)

金澤病院神經科



千葉縣安房郡古川病院

新潟縣新發田町七軒町、竹端醫院

金澤病院內科一部

青森市青森病院

佐世保海兵團

富山歩兵第六十九聯隊醫務室



金澤病院神經科



長野縣長野赤十字病院外科



(北川) 那谷與一(四〇)

中野亮之(四〇)

中原德彌(四〇)

中澤百祐(大元)

長田敏(大二)

中島理吉(大三)

中西與三次郎(大三)

長廻善吉(大三)

中曾根包吉(大四)

内藤榮治(大四)

永野保(大四)

中山茂松(大五)

中谷林左衛門(大六)

中橋賢造(大六)

中神田積(大六)

中井光藏(大六)

南部典(大七)

中村勝屋(大七)

二ノ部



一四二

(北川) 那谷與一(四〇)

中野亮之(四〇)

中原德彌(四〇)

中澤百祐(大元)

長田敏(大二)

中島理吉(大三)

中西與三次郎(大三)

長廻善吉(大三)

中曾根包吉(大四)

内藤榮治(大四)

永野保(大四)

中山茂松(大五)

中谷林左衛門(大六)

中橋賢造(大六)

中神田積(大六)

中井光藏(大六)

南部典(大七)

中村勝屋(大七)

二ノ部



丹羽直(三九)

西正胤(三九)

(名越) 西尾貫一(三九)

丹羽玄純(四〇)

西坂武茂(四〇)



山形歩兵第三十二聯隊醫務室

沖繩縣廳警察部

名古屋工兵第三大隊附



東京傳染病研究所

舞鶴野砲兵大隊附

又ノ部



子ノ部



ノノ部



西川 良造 (四)

西川 英二 (四)

西村 貞俊 (四)

西 勝 人 (四)

西村 福太郎 (四)

西野 宗之 (四)

西原 愛太郎 (四)

西 業 求 (大四)

西 雅 憲 (大五)

新 居 厚 (大七)

額 又太郎 (四)

布 村 祥 (四)

沼 田 準 三 (大三)

根 布 貞 吉 (大元)

野島 茄三郎 (甲醫)

納富 嘉太郎 (四)

野村 亮 吉 (三)

野嶽 利 七 (三)

野 村 敏 (三)

横濱市根岸町恩賜財團濟生會神奈川縣病院

高田歩兵第五十八聯隊第八中隊志願兵

ハノ部

東京市第一衛戍病院附

德島市富田濱側九十一番屋敷、山下眼科病院

秋田市秋田衛戍病院

岡山歩兵第五十四聯隊

野島 利一 (四)

野手 雅 信 (大四)

能木 場 與三吉 (大四)

野澤 寛 二 (大六)

野々山 茂 (大七)

蓮村 外 男 (四)

(河内) 橋本 監次郎 (三)

橋本 喜久三 (三)

林 義 輔 (三)

早瀬 三 求 (四)

八田 智証 (三)

原田 正 廣 (三)

春田 久太郎 (三)

花岡 佐太郎 (三)

林 良 吉 (三)

濱地 藤太郎 (三)

英 軒 二 (三)

長谷 眞 美 (三)

秦 親 眞 (三)

原 久 雄 (三)

林 龍 門 (三)

橋内 兵 治 (三)

原田 悦五郎 (四)

會員名簿

新潟縣新發田町步兵第十六聯隊
東京日本橋區伊勢町十三、中央醫院內

原 季(四〇)
伴 鐸也(四〇)
林 可一(四〇)
林 田信平(四〇)
濱 田真鈕(四〇)
橋 本正次(四〇)
萩 野茂次郎(四〇)
長 谷川 愛之亮(四〇)
八 賀 重 造(四二)
馬 場 庄 江(四三)
濱 野 文 吉(四三)
濱 欽 造(四三)
橋 本 澄(四四)
馬 場 稠(大元)
原 田 四 郎(大二)
林 月 正 之 助(大三)
林 謹 一(大四)
早 藤 市 郎(大四)
秦 正 胤(大五)
原 田 定 次(大五)
八 川 修 一 郎(大五)
林 真 學(大六)
林 信 行(大六)
繁 田 源 信(大六)
服 部 秀 雄(大六)

長野縣長野市千歲町、入病院內
佐世保海軍工廠醫務室

新潟縣北魚沼郡小千谷町、小千谷病院

中華民國安東縣、安東病院

宮崎縣都城步兵第六十四聯隊

(辻口)
濱 野 文 吉(四三)
濱 欽 造(四三)
橋 本 澄(四四)
馬 場 稠(大元)
原 田 四 郎(大二)
林 月 正 之 助(大三)
林 謹 一(大四)
早 藤 市 郎(大四)
秦 正 胤(大五)
原 田 定 次(大五)
八 川 修 一 郎(大五)
林 真 學(大六)
林 信 行(大六)
繁 田 源 信(大六)
服 部 秀 雄(大六)

東京市芝區白金台町二丁目、官立傳染病研究所內

東京府下澁谷町日本赤十字病院分病室醫務局

高田步兵第五十八聯隊醫務局

神戸市立屯田療養所內

東京帝國大學醫科大學外科學教室

靜岡縣立濱松、鴨江病院
農商務省大阪續務署

富山赤十字病院

石川縣美川町、谷口醫院內

ビノ部

仙臺山砲兵第一大隊附

朝鮮駐劄軍司令部附

朝鮮義州憲兵隊本部

大阪市道修町高安病院內

小倉市私立小倉記念館病院內科

三四四

花井 正 良(大六)
林 田 豐 次(大六)
林 武 雄(大七)
早 川 敬 藏(大七)
波々伯部 義 德(大七)
畠 山 正(大七)
日 野 信 次(三三)
彦 坂 誠 一(三三)
平 泉 泰 雄(三三)
平 澤 嘉 圓(三四)
平 澤 謙 齋(三四)
平 松 敏 四 郎(三四)
平 野 鄉 治 郎(三四)
平 手 秀 敏(三四)
廣 山 壽 男(三四)
久 津 明 一(三四)
菱 川 瀧 太(三四)
廣 瀨 竹 次 郎(三四)
東 義 雄(大二)
日 比 忠 男(大三)
飛 見 丈 繁(大四)
廣 野 加 藤 次(大六)
廣 橋 惺(大六)

フノ部

金澤市彦三町、金城病院

高岡市大澤病院内

朝鮮忠清南道公州郡公州邑、公州監獄醫

奈良歩兵第五十三聯隊

三河國幡豆郡西尾町、西尾病院

福井縣小濱病院

旅順衛戍病院

臺灣歩兵第一聯隊附

會員名簿

- 藤井伊之吉(三四)
- 藤井榮四郎(三六)
- 藤井温良(三〇)
- 藤井助雄(三三)
- 深見貞之助(三三)
- 福岡喜洋(三五)
- 藤波謙(三五)
- 富久尾湊(三七)
- 福山可藏(三七)
- 伏田金三(三六)
- 福島可鋪(三六)
- 藤井一雄(四〇)
- 深澤治三郎(四〇)
- 古屋榮治(四〇)
- 藤井最正(四二)
- 藤田藤右衛門(四二)
- 古屋與三(四二)
- 福田美明(四二)
- 富家光雄(四三)
- 古谷強(四三)
- 藤登敏太郎(大元)
- 福里次吉(大元)
- 藤澤好彦(大元)

岐阜縣大野郡平金嶺山警局

高知縣安藝郡西分村、藤戸醫院

金澤市仙石町、林病院内

金澤病院内科二部

大阪市西區新町通三丁目、緒方病院外科

金澤病院外科第二部

北海道空知郡砂川、兒玉病院内

本校醫化學教室

ホノ部

- 藤岡孫喜(大元)
- 藤田孫太郎(大二)
- 藤戸謙治(大三)
- 深澤忠義(大三)
- 布瀬七一郎(大四)
- 古川定雄(大五)
- 藤邑左京(大六)
- 船越光彦(大六)
- 藤野幸太郎(大六)
- 福西泰永(大六)
- 藤原嘉瑞(大六)
- 藤田士郎(大六)
- 二木太吉(大六)
- 藤江麗(大七)
- 藤巻力雄(大七)
- 藤野保太郎(大七)
- 福田孝(大七)
- 堀米次郎(三六)
- 星野正齊(三六)
- 星子元真(三六)
- 本田三郎(三六)
- 堀政次(三六)
- 堀井吉平(三五)

會員名簿

富山縣伏木、長谷川病院

大阪商船會社醫務室

金澤病院内科一部

朝鮮大邱府慈惠醫院

滋賀縣大津赤十字病院

濱田衛成病院

マノ部

堀田圭三(三)

細田榮(三)

本城熊三郎(元)

堀雅壽(四)

堀孝信(四)

波々伯部重隆(大二)

細川孝一(大二)

堀木勇治(大六)

本郷啓(大六)

堀口銚吾(大六)

堀地四郎(大七)

堀政明(大七)

松本繁正(甲醫)

松川甫恭(元)

松井梅次郎(三)

松浦啓三(三)

眞柄佐一郎(三)

松田龜太郎(三)

松王敷男(三)

丸山六郎(三)

松村魁(三)

増田貞吉(三)

松田研吉(三)

神戸市兵庫西出町、大國病院内

政山龍雄(三)

松村四郎(三)

松井源長(三)

松尾等(三)

松坂幸七郎(三)

丸谷熊次郎(元)

松原左武郎(元)

松原氏猷(元)

松久祐馬(元)

松山清(元)

馬淵眞澄(元)

増井榮太郎(四)

眞澤貞一(四)

松本常次(四)

馬庭駿一郎(四)

松江鐵五郎(四)

松村喜一(四)

眞館修平(四)

丸山直友(四)

松田隆(四)

馬詰定衛(四)

松田武千代(四)

松下嘉右衛門(四)

松田泰藏(四)

丸谷定雄(大元)

(平泉)

金澤病院外科一部
石狩國空知郡沼貝村美唄炭山市街地
三條通)美唄病院内

仙臺歩兵第四聯隊第五中隊、見習醫官

三ノ部

朝鮮駐劄憲兵隊司令部附

會員名簿

丸山 浩平(大元)

松崎 清博(大二)

真下 誠(大三)

松田 茂(大三)

松田 外次郎(大四)

松本 桃道(大四)

町野 民介(大六)

松山 雅雄(大六)

的場 清太郎(大七)

前田 信吉(大七)

松川 甲午郎(大七)

前田 道貞(准特)

三木 三郎(三)

宮島 健治(三)

宮井 勇(三)

(酒井) 水上 佐太郎(三)

宮越 常次郎(三)

三股 梅吉(三)

宮崎 稻作(三)

三崎 吉太郎(三)

水口 史郎(四)

水口 順(四)

南 茂吉(四)

廣島縣宇品陸軍運輸部本部附

富山縣警察醫

大湊要港部病室

群馬縣前橋市神明町、北川醫院方
愛知縣豐橋市大字花田字狹間、河合病院

金澤病院内科一部

東京麻布歩兵第三聯隊

水戸歩兵第二聯隊附

石川縣石川郡松任町、私立松任病院

金澤病院レントゲン科

東京市神田區裏猿樂町二、延壽堂病院内

美原文 二(四)

(副田) 御堂 實成(四)

宮城 篤珍(四)

水谷 浩一(四)

宮崎 繁(四)

三上 儉治(四)

水口 哲三(大二)

水島 時男(大三)

皆川 真(大三)

水野 重二(大四)

水島 亨(大五)

水島 宣(大五)

宮地 幾也(大五)

三浦 勝吉(大五)

宮 森 基(大五)

南 兵太郎(大五)

三浦 大三郎(大六)

宮地 勝郎(大六)

宮本 實太郎(大六)

宮田 太喜男(大七)

宮崎 宗一(大七)

宮野 三真(大七)

村本 笹次郎(三)

△ノ部

會員名簿

長野縣須坂町、須坂病院
高田衛戍病院

神戸市東川崎町、株式會社川崎造船所醫局

金澤病院外科二部
本校細菌學教室

毛ノ部

香川縣警察部衛生課

臺灣南投廳霧社支廳

栃木縣佐野田丁金屋丁、茂居醫院

村上麻次郎(三〇)
村尾純昌(三〇)

村山常三郎(三〇)

村松貞治(三〇)

村上盛窄(三〇)

村松純吉(三〇)

村山三男三郎(大元)

村山良平(大元)

村田義岡(大六)

村山銓吾(大六)

村上正徳(大六)

村山午朔(大七)

森川修(元)

諸角友平(三)

森田齊次(三)

森岡収(三)

諸橋嘉久治(三)

森田信雄(三)

森舜司(三)

森義作(元)

茂居政治(元)

諸橋林太郎(四)

守部廉次郎(四)

金澤病院皮膚科

石川縣石川郡二塚村字專光寺

石川縣江沼病院

金澤病院内科一部

ヤノ部

金澤市彦三町、金城療病院

金澤歩兵第七聯隊醫務室

森 桑次郎(四)

(小原) 森田隼三(四)

本 正 生(大元)

森田耕一(大二)

諸橋善三郎(大三)

本江慶太郎(大五)

毛利元隆(大六)

毛利久五郎(大六)

森 謙 二(大七)

安田則人(甲醫)

谷中正勝(甲醫)

山本 晋(三)

山田孝太郎(三)

山田金一郎(三)

山田義忠(三)

八牧政孝(三)

山崎芳太郎(三)

山本幹雄(三)

(森) 山崎清吉(三)

谷中黎次郎(三)

山田伊之助(三)

山下鐵吾(三)

新潟市竹山病院内科

安田 三木 (三)

屋富祖 徳次郎 (三)

柳原 茂樹 (三)

(山本) 山田 幸吉 (三)

山田章 一郎 (三)

山口辰五郎 (三)

山田外來雄 (三)

山中房次郎 (三)

山村 鏞二 (三)

山内馨二郎 (三)

山内順治 (三)

山口 登 (三)

山際房次郎 (三)

(杉内) 山脇 泰治 (三)

山田 有登 (三)

柳原 隆 (三)

山科他喜雄 (三)

矢吹 清 (三)

山崎重治 (三)

安澤 一清 (三)

矢原準一 (三)

安田末吉 (三)

(佐竹) 柳瀬仁三 (三)

山村茂一 (三)

安仲秀雄 (三)

金澤市石浦町、山田病院

神戸市鐘紡兵庫病院

三重縣志摩郡鵜方村、山際好生堂醫院

大阪市西區川口町八番地、バルナバ病院

朝鮮馬山府鎮海灣分院

京都醫科大學外科研究室

大阪府下西成郡川北村外島保養院内

北海道空知郡栗澤村字萬字炭礦病院

善通寺步兵第四十三聯隊第十一中隊

東京步兵第一聯隊見習醫官

東京市芝區赤羽橋恩賜財團濟生會病院

函館區蓬萊町五〇、渡島外科療病院

二ノ部

大阪砲兵工廠救濟會所

本校細菌學教室

三ノ部

函館區蓬萊町、渡島外科療病院

青森縣弘前市步兵第五十二聯隊附

山本辰吉 (大六)

山本文吾 (大六)

山崎喜代作 (大六)

家城秀哲 (大六)

山本專二 (大六)

山田兵三 (大六)

矢崎茂登一 (大七)

柳井伊義 (大七)

湯淺富尙 (大七)

由利悦夫 (大七)

吉崎那太郎 (三)

米村吉太郎 (三)

横山 軫 (三)

吉川砥直 (三)

吉江乘太郎 (三)

吉住 保 (三)

吉井康次郎 (三)

四倉重篤 (三)

吉池省吾 (三)

吉田東秀 (三)

横山 鼎 (三)

會員名簿

靜岡縣靜岡病院

廣島市宇品町、陸軍運輸部本部附

鯖江步兵第三十六聯隊附

長野市日本赤十字社長野支部病院
高田步兵第五十八聯隊第八中隊
靜岡步兵第三十四聯隊醫務室

三河國碧海郡旭村、洋々醫館内
福井縣敦賀病院

中華民國浙江省杭州、浙江病院

愛知縣渥美郡田原町、田原病院

吉川孝作(三九)

吉川友信(四〇)

吉田誠一(四一)

吉田 貢(四二)

吉川六郎(四三)

吉田 圓磨(四四)

吉川 誠(大元)

吉見 昌造(大元)

米元 正雄(大元)

吉田 憲吉(大元)

吉田 少二(大五)

吉野 九郎(大六)

吉田 幸平(大六)

横井重太郎(大六)

横田 豐治(大六)

吉原 靜諭(大六)

吉田 重夫(大七)

厲 家 福(四二)

波 孚 貞(三三)

波邊九壽松(三三)

三重縣南牟婁郡木本町木本病院

臺灣臺北醫院小兒科

秋田步兵第十七聯隊附

● 通 常 會 員

▲醫學科第四學年級

現籍(又ハ現住所)

波邊 十治(三四)

鷺山他三郎(三五)

若尾 隆吉(三七)

鷺山 謙吉(三八)

波邊 光生(四二)

若林 篤之(四三)

波邊 宗一郎(四四)

和田 政範(四四)

(清水) 波邊 仙岳(四四)

波邊 八之進(四四)

脇屋 誠義(大二)

湧井 正雄(大三)

波邊 稠雄(大六)

鷺塚 政光(大六)

武部 伴吉

中田 又八

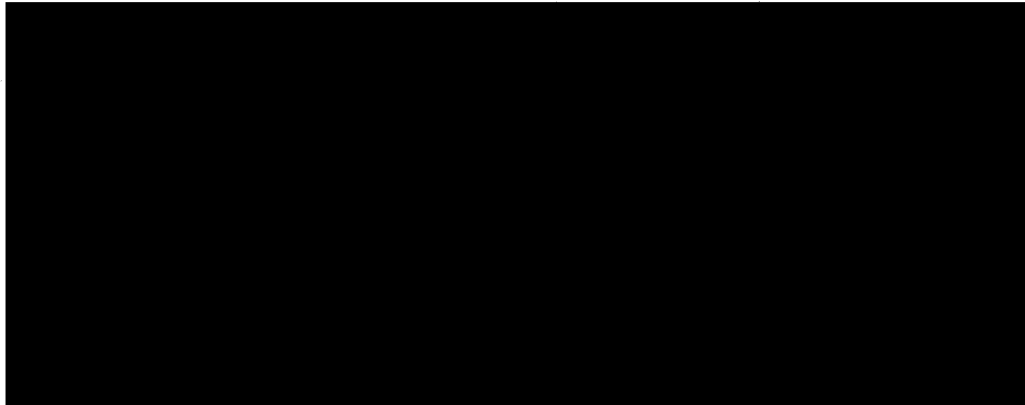
池田 龜代士

飯倉 保

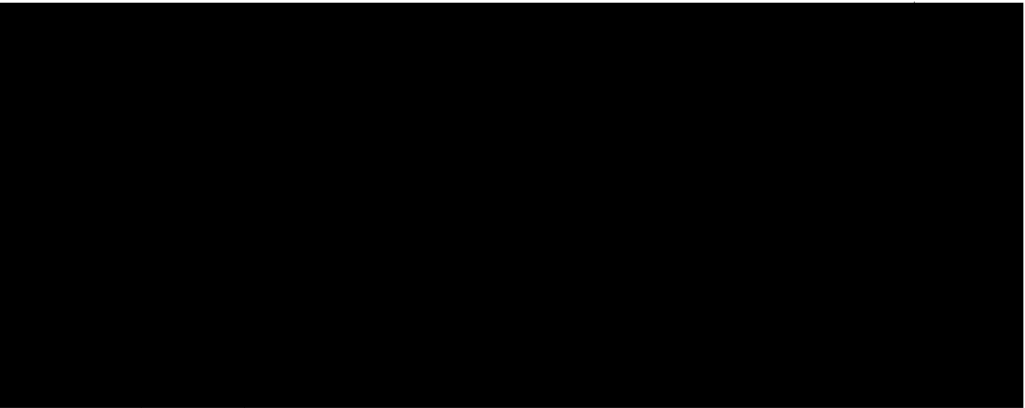
中川 正儀

河本 謹一郎

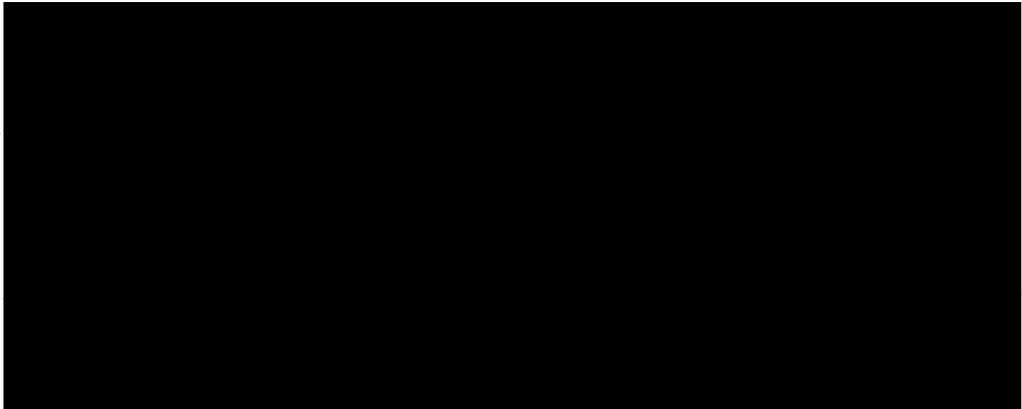
會員名簿



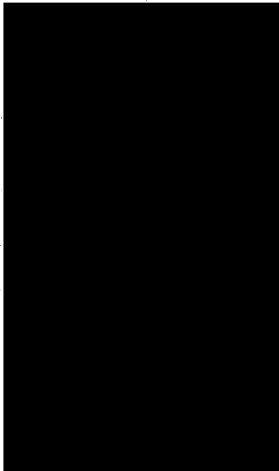
津田三男吉
辻出小左門
石井健
蓮井正治
綱村基行
服部章
佐藤英一
佐竹清秀
近藤政義
中澤弘恭
竹松進
福田八郎
小林雅男
佐々木文平
森本和雄
淺野皎
野坂勝治
石堂守治
小池龍次郎
瘡師行雄
久藤賀之雄
岡田耕
牧進
大和教次
小野木豊俊



杉村一郎
植松銳治
別所武雄
森澤誠一
和田龜俊
阿部忠夫
小島清豐
權田與市
別所友安
北尾雄馬
松林桂太郎
水上清之
大橋四郎
藤本淵
清河吉平
辻二八
松尾厚
若林國男
鷺谷嘉英造
新井甫
吉岡勇市
湊育造
今田資一
西山蕃
織田正治



森永圭太郎
 本田 蘭
 林 隆衛武
 宮前助三郎
 吉岡正義
 武田英一
 井土 巖
 山内虎太
 渡部綾藏
 安田勝太郎
 西川義男
 小村愼三郎
 松本永周
 片岸憲良
 石塚 純
 大沼清次
 白崎得男
 森田克巳
 勝山福次郎
 池田外喜男
 山中義信
 原田理藤
 武村 尙
 大橋彦市
 八田吉郎

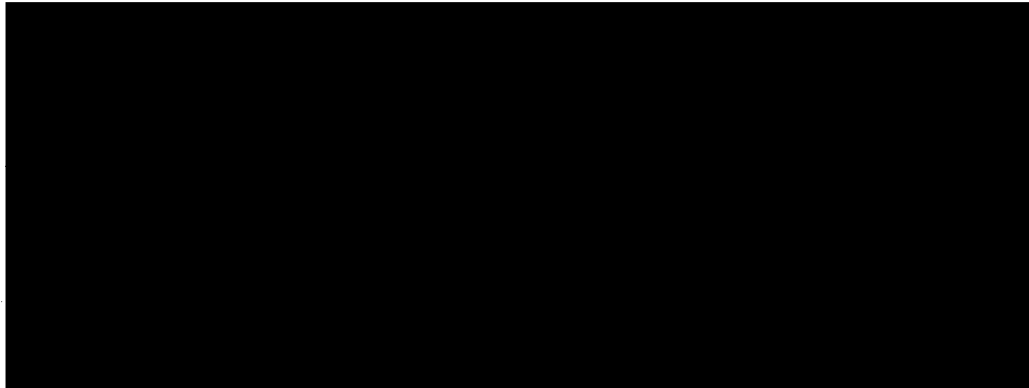


▲同 第三學年級

同 新堅町、平松醫院内



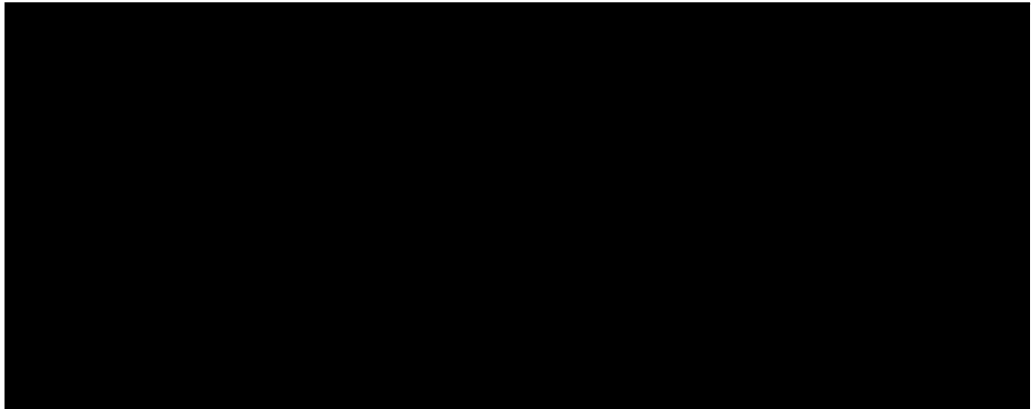
今村康信
 天谷 進
 中谷正知
 内匠登幾雄
 河村金次
 渡邊 亮
 鈴木英介
 西條良胤
 藏 香次郎
 翁 久二
 野村祐之
 小川退三
 早川留三郎
 家田耕三
 中澤午次郎
 齊藤 靖
 林 次郎
 新井俊雄
 瀬川吉雄
 石田秀雄
 宮本博人
 島田三郎
 佐野 敏
 三上 顯



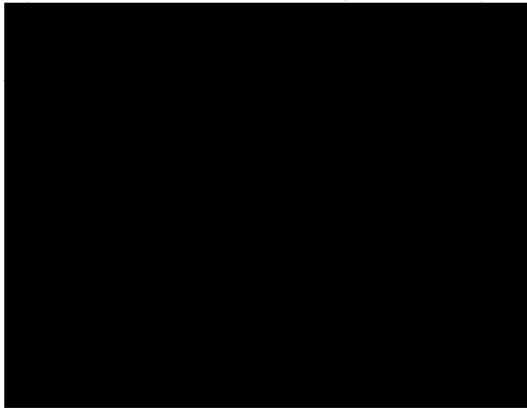
北野正儀
 茶谷 良
 西木金裕
 横澤三右衛門
 石川 盈
 馬 詰 將
 高橋幸三
 四方京一
 花岡外喜
 村上準一
 長佐古友衛
 川島孝資
 故田賢意
 伊藤 實
 西宮貴久男
 三乘實惠
 高橋孝治郎
 武居市重
 大藤熊吉
 石坂彌三郎
 荒木道太郎
 森 三 郎
 木下啓之助
 安原 俊
 毛呂英夫



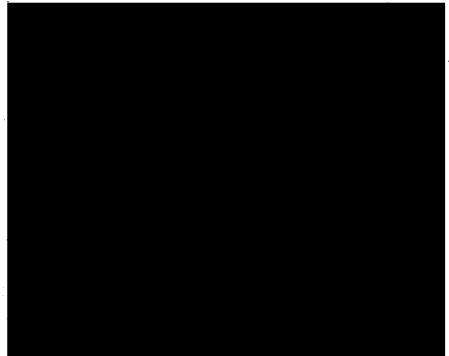
衣川 續
 青木 操
 藤井節郎
 星 清美
 宮崎 洪
 安達今朝衛
 生駒馨雄
 田中英香
 竹中啓吉
 龜田神三寶
 赤松貞夫
 泉 與一
 平井 隆
 渡邊初男
 佐々木榮一
 牧田孝平
 野松義應
 日比正志
 太田 英
 確水 清
 酒井 良
 垂水二郎
 小林幸五郎
 荒井嘉市
 多川 幹



小林 俊
岡崎 正俊
堀 泰二
栗田 進
上田 常吉
高島 德正
田口 節朗
團野 輝雄
加藤 信香
西木 秀男
岩田 茂
青木 久男
小口 益人
齊藤 慎
柳生 一松
田幡 丈夫
鈴木 壽六
奥田 享吉
三井 博貳
上原 松金
大野 計信
有賀 博
小菅 俊平
草間 隆太郎
河西 澄

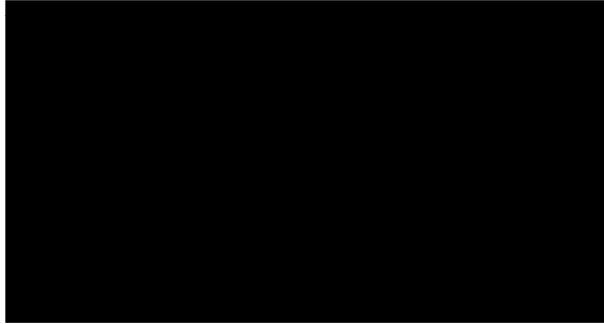


▲同 第二學年級



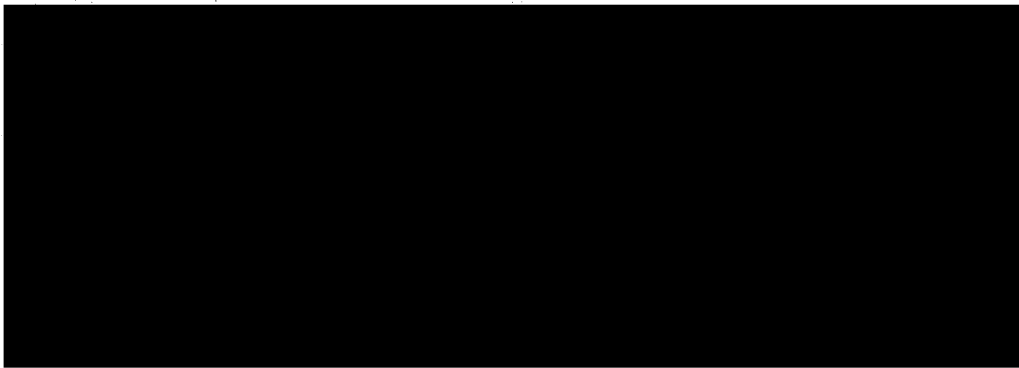
水野 醇
瀧川 一忠
今越 茂之
磯矢 泰一
酒井 熊治
林 五次
岡本 俊次郎
的場 宗純
中島 貫一
清水 宗一郎
加藤 美一
森脇 襄治
倉橋 節夫
三崎 俊夫
安藤 茂雄
木下 秀吉
村瀬 武雄
柳澤 德義
津川 辰三
盛永 平
菊地 省吾
朝日 正夫
井關 好俊
女川 教恩

栃木縣栃木町一八五、都賀病院

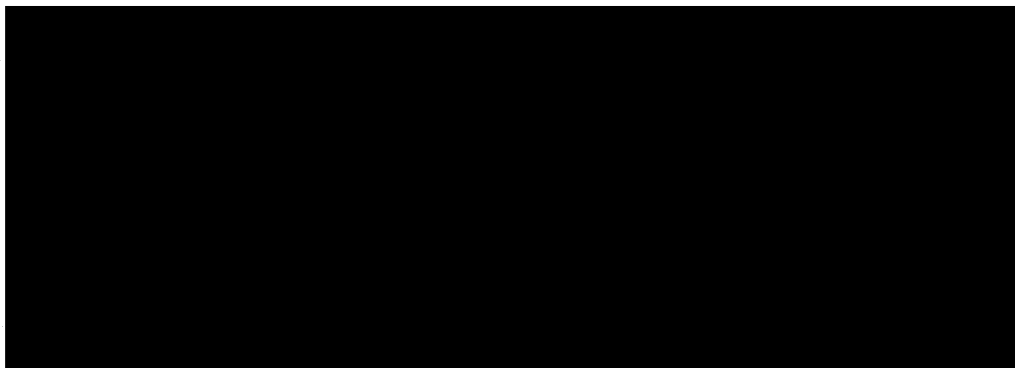


會員名簿

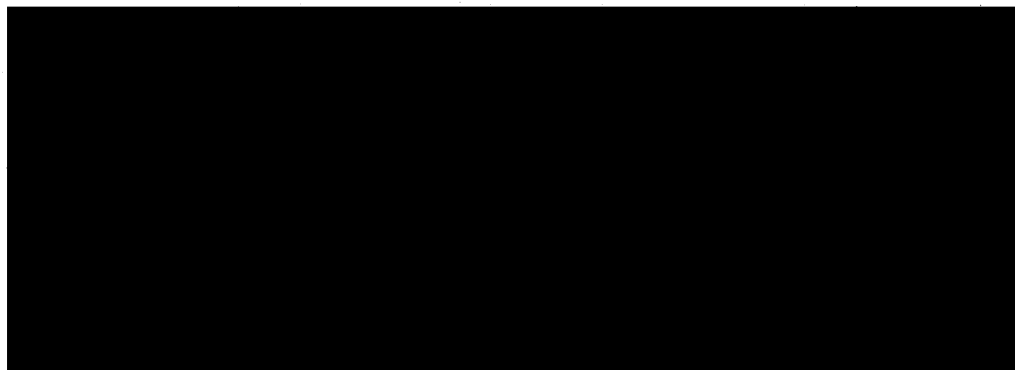
三宅浩三
 白井萬司
 杉山政雄
 高瀬四郎平
 松田三一
 永井文平
 井上二郎
 村本豐馬
 杉澤隆吉
 永井保次
 飯田正雄
 吉山義嗣
 清水一藏
 佐藤榮長
 三井義雄
 堀越龍一
 高岡一五郎
 三木成章
 荒井金三
 五十嵐文治
 三浦外茂治
 西岡雄彌
 清水恒太郎
 堀久
 駒田誠一



三原重三郎
 道井他吉郎
 渡邊麗
 新家徳信
 森健次
 西村肇
 大塚勇
 安井二郎
 後藤成己
 平野雄三郎
 大司義一
 大森良次
 菱哲
 金森精一
 中田重仁
 坂村吉忠
 西本利雄
 生垣倉三
 村田三郎
 上坂鵬太郎
 久保田敬吉
 藤澤卓之
 福田正材
 相澤正
 岩佐久



丸外毛三
市田文一
伊藤甚藏
田中靜雄
金子十郎
瀬戸山三郎
石井清民
小松嘉門
中瀬眞亮
高島高文
八木義一
村山敏雄
賀古弓弦
久保定二
本田久吉
堀謙三
百瀬重雄
北川定義
村上賢三
松原信行
川崎順二
岩脇吉榮
大瀧隆英
吉本一治
稻坂謙三



村島耕造
遠藤正治
朝岡武男
小菅愛三
野口廉一
野村權一
井上勳
高橋庫吉
牛圓新太郎
飯島龜雄
岩佐健吉
玉置周介
大久保繁雄
島山鋒成
古川克吉
小口綾三郎
市田賢吉
池上純一郎
國島政治
桐村信孝
宮尾眞吉
尾關一男
川島五郎
黒岩陳人
小栗斐弼

會員名簿



▲同 第一學年級



和田英次郎
鈴木四郎
鈴木晃
渡部佳吉
清水助藏
岡本哲雄
武藤讓
倉金五郎
酒井代三男
南德次
八木繁雄
今崎義則
野瀬房雄
洲崎林造
吉岡彦太郎
森美樹
吉川吉次
細道陽三
谷藤藏
榊田義雄
横内次郎
水上秀雄
井上貞義
松宮忠三



玉真富
逢澤薰
吉本勝
中野八三郎
野田吉三郎
長井貞治
紙尾孝次
鈴木幸光
佐田耕一
伊川喜久藏
金子實
荒尾正信
溝口義一
小峰武雄
不破隆久
勝田毅
國分道夫
畑田大策
碓井元治
小山菊麿
杉本完一
小林滋
近藤秀夫
長井涇
吉田芳雄



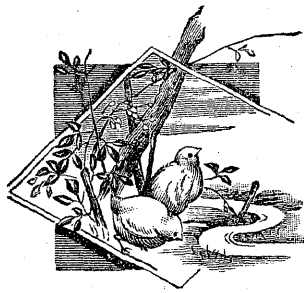
下間 頼弼
 大塚 知行
 樋野 自愛
 齋藤 龜治
 坂本 友雄
 吉澤 弘
 小林 嘉三郎
 溝口 茂雄
 風間 勝明
 山景 政美
 西村 友一
 三好 高彦
 加藤 壽一
 西山 茂
 村田 均
 湯川 福壽
 阿久津 精一
 本田 武一郎
 和田 文治
 宮岸 作松
 高松 與志勝
 三木 乘正
 坪田 三郎
 西川 淡
 宮田 彌平次



齊藤 洋
 村田 四郎
 藤田 榮壽
 廣田 五郎
 石川 匡
 大谷 靜夫
 山崎 平
 星 真人
 永田 秀雄
 寛 孫二郎
 藤田 仁
 陌間 時春
 可知 猛男
 本谷 謙二
 野村 一郎
 相川 助松
 柿下 正道
 松原 能守
 福田 美信
 和田 慈圓
 洲崎 敬三
 塚田 洋
 角田 庄作
 塚 清次
 岡田 義雄



安田俊三
 山本善隆
 古橋寬一郎
 小岩井武作
 井關 昶
 竹林秀雄
 井口武夫
 市川義雄
 倉重芳嗣
 上條重兵衛
 佐野文泰
 堀越彌六
 村山信一
 中村貴一
 蒲 賢信
 野村朋一
 水間俊吉
 落合 寬
 春成英吉
 笹井政吉
 米澤甚吾
 天海健次郎
 本多芳雄
 大野利雄
 市川正雄



高澤豐平
 野口隆正
 柳澤嘉三郎
 高田 至
 亘理 震
 倉田時治
 印南勇平
 木原 武
 萩原道三
 水野善慶